

JCCA

Japan Civil Engineering Consultants Association

ズーム イン ちゅうぶ
図夢in中部

2023 Vol. 51

なごや上下水道
110周年の取り組み

ー暮らしを支えて110年 なごやの水道・下水道ー



一般社団法人

建設コンサルタンツ協会 中部支部

描けます、 あなたの夢を

協会コンセプト

協会会員は、豊かな未来に向けて
今なにをすべきか、
専門的知識を持って、
具現化のアシスタントを
いたします

C O N T E N T S

図夢in中部 Vol.51

目次

1 巻頭言

副支部長 1

2 特集

なごや上下水道110周年の取り組み
ー暮らしを支えて110年 なごやの水道・下水道ー 2

3 投稿

入庁から6年間を振り返って 10
賑わいのあるまちづくり 10
入社から3年を振り返って 10
7年間の振り返りと、技術士としてのこれから 12
20代の今までと30代のこれから 12
入社から3年を振り返って 12

4 支部会員会社紹介 14

5 協会活動紹介 16

6 会員名簿一覧 30

7 事務局だより 32

8 編集後記 33

— 未来を創ろう —

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部
副支部長 中村 桂久



はじめに

国土交通省から「新たな国土形成計画素案」(2023年4月)が示されました。そこでは、目指す国土の姿として次のような点が挙げられています。

- ・デジタルとリアルの融合による、活力ある国土づくり
- ・巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する、安心・安全な国土づくり
- ・世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む、個性豊かな国土づくり

これからの国土整備の方向性を示す重要なものですが、課題もあり、そこに建設コンサルタントの果たすべき役割があると考えます。

人口減少下での国土づくり

我が国の人口は2004年をピークに減少に転じており、現在の若年人口の少なさから、2050年には1億人を切り1965年頃の水準になると予想されています。

このような状況下で、従前の、拡張基調に合わせて整備を進めてきた社会インフラを維持していくことが困難になってきています。こうした問題は過疎化の進む地方部でより顕著となり、安全・安心を優先した、地域生活圏の再整備を進めることが必要です。

また、東京への一極集中は地震災害などに対するリスク管理上好ましくなく、デジタルを活用した分散型社会も望まれています。

一方、財政状況の問題もあり、行政のみで行えることに限界が訪れ、民間投資を呼び込んで地域産業の発展を呼び込むことへの取組も始まっています。

建設コンサルタントだからできること

これからの国土づくりには、より多様な視点が必要となってきます。安全・安心、デジタル、脱炭素、リダンダンシー、予防保全、地域ネットワーク、生産性向上、これらのことを多角的に把握して最適な社会インフラ整備を提案することが必要だと考えます。

こうした時には、行政の縦割りや、行政と民間や大学との距離が障害となりますが、様々なところにネットワークを持ち信頼関係を築いてきた建設コンサルタントには、そこを横断した発想・提案ができると思います。

建設コンサルタンツ協会中部支部では、本年度より、「中部圏インフラ整備構想推進委員会」を立ち上げ、『真の豊かさ』を実感できる国土づくりに向けて”をテーマとして、中部地方の国土づくりの未来について、検討を開始しました。この地域の建設コンサルタント各社の英知を集めて、誇れる未来を描くことができると期待しています。

未来を創ろう

私たちは、社会資本の整備を通して、国土の安全を守り、より良い生活環境を提供することを使命としています。

長きにわたって使われる社会資本を整備することは、未来の社会基盤を創っていることでもあります。未来に思いをはせ、より豊かな生活を送ることができる社会の実現に向けて、未来を創っていきましょう。

なごや上下水道110周年の取り組み —くらしを支えて110年 なごやの水道・下水道—

名古屋市上下水道局 経営本部企画経理部 経営企画課長 あだち ひろき 安達 博紀



1 はじめに

名古屋市は、大正元(1912)年11月に下水道が最初の供用を開始してから令和4年度に110年を迎え、また大正3(1914)年9月に水道が最初の給水を開始してから令和6年度に110年を迎えます。本稿では、本市上下水道事業の歴史を振り返ったうえで、上下水道110周年事業の取り組みについてご紹介したいと思います。

2 名古屋市上下水道の歴史

(1) 上下水道布設案の成立

本市の上下水道は、明治26(1893)年、内務省衛生局顧問のW. K. バルトン氏(写真1)に上下水道の布設調査のための実地調査を委嘱したことに始まります。しかしながら、同氏の調査結果は、当時の財政上の都合により、起工にまでは至りませんでした。

明治32(1899)年、改めて「緊急下水道計画」を作成するため、愛知県技師上田敏郎氏(後の名古屋市技師長・写真2)に下水道布設の調査を委嘱し、同35(1902)年、同氏に「水道計画」の作成のための調査を委嘱しました。これをもとにした上下水道布設案は、同39(1896)年、市会で可決され、同41(1908)年、国の認可を得ることとなりました。

本市の水道の創設工事は、当時の市の年間予算の5倍を、下水道の創設工事は2倍を超える空前の大事業であり、生活環境の改善と公衆衛生の向上を図り、名古屋の発展を支えるため、長い歳月と巨額な工事費を投じて上下水道創設が推進されました。(写真3・4)

(2) 上下水道110周年の起算点

下水道布設工事は、明治41(1908)年に着手され、大正元(1912)年11月15日に当時の中区伊勢

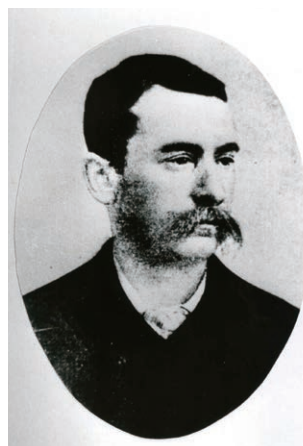


写真1 W.K.バルトン氏



写真2 上田敏郎氏



写真3 創設期の下水道工事



写真4 創設時の鍋屋上野浄水場旧第1ポンプ所

山町ほか9町(現在の東別院の西一帯)に初の竣工告示、公共下水道の供用が開始されました。

一方、水道布設工事の概要は、水源を木曾川自流水とし、犬山町(現在:犬山市)に取水場を設置し、東春日井郡鳥居松村(現在:春日井市上八田町)の鳥居松沈でん池を経て鍋屋上野浄水場のろ過池へ導水、ろ過した水はポンプにより東山配水池に送り、同地から市内各所へ配水しようとするものでした。工事は、明治43(1910)年に着手され、大正3(1914)年に主要部分が完成し、通水や放射試験を経て同年9月1日に鍋屋上野浄水場から給水を開始しました。

(3)日本初の下水処理方法の採用

創設当時の下水道は、本市の中央部を貫流する堀川および新堀川へ集めた下水を直接放流していたため、両河川の汚染と悪臭が大きな問題となりました。

これを受けて、大正12(1923)年3月の創設事業の完成後、下水処理および最終処分方法について調査を開始し、下水処理の案のひとつである活性汚泥法(下水中の微生物を利用して有機物を分解する処理方法)の実用性を確認するため、熱田抽水場構内にて実地実験を行うこととなりました(写真5)。

東京帝大草間教授らの指導の下に幾多の実験を重ねた末、この処理方法を採用した堀留下水処理場(写真6・7)と熱田下水処理場が、昭和5(1930)年10月1日に下水処理を開始しました。

この2つの下水処理場は、現在の日本の下水処理場で最も多く採用されている活性汚泥法を、日本で初めて採用した下水処理場となりました。

(4)8期に及んだ水道の拡張事業

給水開始後しばらくの間は、水道事業の進展は十分なものとはいえませんでした。これは、水道の利便性が市民に認識されていなかったことや、第一次世界大戦の影響により諸物価が高騰し、給水工事費を高めたことが原因でしたが、大正10(1921)年頃になると物価の値上がりは鈍り、給水工事費の低減、また水道の利便性が市民に周知されたことなどにより、水道の普及率は著しく増大していきました。

また、明治40年に隣接2か町村の一部を名古屋市に合併したことを皮切りに、大正10年に隣接

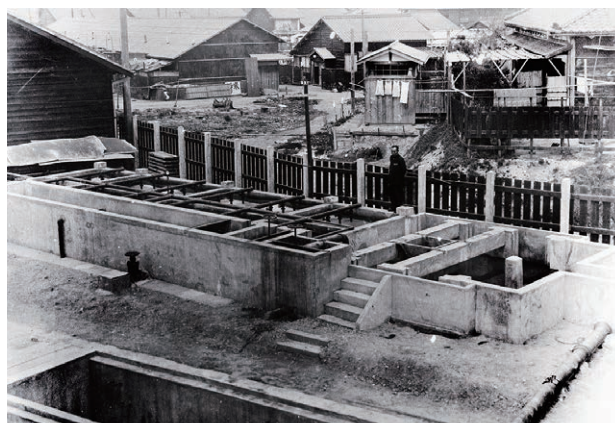


写真5 活性汚泥法実験施設(熱田抽水場構内)



写真6 創設時の堀留下水処理場



写真7 堀留下水処理場 直結式ブロワ



写真8 東山配水塔(第3期拡張事業)

16か町村を合併するなど市域が飛躍的に拡大していきました。

これらに伴い、配水管の拡張はもちろんのこと、増え続ける給水需要に対応できるよう、基幹施設の拡張も進められました。既存施設の増設のほか、取水口、浄水場、配水場の新設などにより給水能力の増強を図りました(写真8)。こうした拡張事業は、創設工事時から昭和58(1983)年まで8期にわたって行われ、ほぼ現在の水道施設が形成されるに至りました。

3 上下水道110周年事業

(1)概要

本市では、上下水道110周年事業(以下、「110周年事業」といいます。)として、令和4年度から令和6年度までの3か年にかけて、職員の意識醸成や事業のさらなるPRに向けた広報に取り組んでいくことを目的として、基本方針を次のとおり定めました。

(2)基本方針

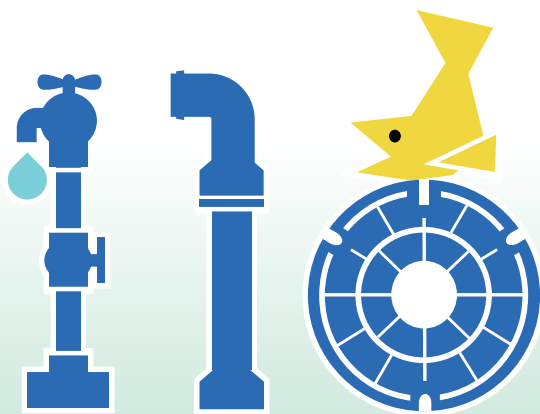
①職員の意識醸成

職員一人ひとりが歴史の重みを感じ、これまでに積み重ねてきた事業を担う誇りと愛着を持って、今後50年100年先を見据え、職務に向き合っていくための契機となるように、若手職員の意見も踏まえながら、110周年事業を進めていきます。

【キャッチコピー】

くらしを支えて110年 なごやの水道・下水道

【ロゴマーク】



【デザインの説明】

水道管やマンホールなどの材料と、名古屋のシンボル「金のしゃちほこ」を使って110周年を表現しています。

上下水道をもっと身近に感じ親しみをもってもらいたいという願いを込めました。

②広報

これまでの歴史を振り返りつつ、当局事業の現在を紹介し、持続可能な事業運営を行っていることを理解していただくことで、当局に対するお客さまからの信頼をより高めていきます。

(3)110周年キャッチコピー及びロゴマークの作成

110周年事業を効果的にPRするため、キャッチコピー及びロゴマークを作成することとし、作成に当たっては、上下水道局内の全職員を対象に募集を行いました。キャッチコピーについては37件、ロゴマークについては31件の応募があり、全職員による投票で決定しました(写真9)。

職員自ら決定したこのキャッチコピーとロゴマークを、様々なイベントや配布物などで活用しながら110周年事業をPRしています(写真10)。

4 職員の意識醸成に向けた取り組み

(1)110周年事業研修

①歴史発掘研修

採用後3年目職員を対象に、本市上下水道事業の歴史を振り返ることで、当局事業に対する誇りと愛着を培い、視野の拡大に繋げることを目的とした「歴史発掘研修」を実施しました。

この研修は6月と9月の2回に分けて行い、6

写真9 110周年キャッチコピー・ロゴマーク



写真10 工事看板へ活用したPR

水道事業を取り巻く経営課題の説明があり、「市民生活や社会活動を支える上下水道事業が安定したサービスの提供を継続できるよう、時代の変化に対応していく柔軟な発想で事業課題を解決し、積極的に取り組んでもらえることを期待する」と、局のこれからを担う職員への激励の言葉をいただきました。

セミナーを通して、研修生始め職員一人ひとりが、広い視野と柔軟な発想でさまざまな課題を乗り越えるきっかけとなりました。

月の研修では、平成12年の東海豪雨や緊急雨水整備事業などについて、元次長の局OBによる当時のエピソードや経験談を交えた講演が行われたほか、当局事業の歴史から研修生が自分の職務に関連したことや関心のあることについて自らテーマを設定し、調べて資料にまとめる課題が出されました。約2カ月半の資料作成期間のうち、9月の研修にてそれぞれ発表と質疑応答を行いました。

研修生は、自ら調べ、歴史に触れる経験を通して、上下水道事業の重要性を再認識するとともに、多くの刺激と学びを得ることができたようでした。

②上下水道事業セミナー

今後50年、100年先を見据え、職務に向き合っていくための契機となるようにという趣旨のもと、元副市長の局OBや現役の幹部職員による講演が行われました。

講演では、次の110年に向けて名古屋市政に携わる職員一人ひとりが広域的視点を持つことの重要性について語られ、「水道と下水道の間にある市民生活に重点を置いて実務に取り組んでほしい」というアドバイスをいただいたほか、上下

(2)若手職員の活用を通じた育成

①若手職員からの意見募集の活用

今後の上下水道事業を担っていく若手職員から、「よりよい上下水道サービスの提供のために、職員一人ひとりが普段から心がけておく」とよい行動について提案していただき、それを10か条の心得として整理しました。

この10か条の心得は、日頃から意識して行動できるよう、全職員で共有するとともに、名札の裏面に印刷していつでも見ることができるようになっています。

②広報手法検討会の設置

若手職員の、よりお客さまに近い感覚と柔軟な発想によって、わかりやすい事業PRを行うことを目的に、入庁2～10年目の職員などで構成される広報手法検討会を設置しました。企画するのはなごや水フェスタおよびSNSにおける広報とし、110周年事業の令和5年度の広報テーマ(後述)についてどのように広報するのが効果的か、各メンバーの所属で培った知識や経験などを基に案を出し合い、結果次のとおり取り組むこととしました。

まず、なごや水フェスタにおける広報について、広報テーマの内容をクイズにしたクイズラリーの

実施を企画しました。参加者にラリー用紙を配布する従来の形式ではなく、スマートフォンアプリ「LINE」のサービスを活用した形式を採用しました(写真11)。これは、参加者の利便性を向上させるとともに、当局公式ウェブサイトの関連ページへの誘導リンクをメッセージで送ることにより、クイズラリーに参加したお客さまの当局の事業への理解をより深めることを期待したものです。

当日は家族連れの方々からご年配の方まで多くのお客さまにご参加いただき、事業について広くPRすることができたと感じています。

次に、SNSにおける広報については、局公式SNSアカウントにて定期的な投稿をすることとしました。日頃SNSを使用する頻度が高い若手職員の感覚を生かし、広く一般に使われている言い回しや表現を使って投稿することで、閲覧者が親しみや興味関心を持てるような投稿にしています。また、若手職員による投稿が分かるよう、「#若手職員チーム」というハッシュタグをつけるなど工夫をしました。

5月31日に初めての投稿をしました(写真12)。今後は月1回程度のペースで、令和5年度の広報テーマについて広報していく予定です。

これらの取り組みを通じて、上下水道のこれまでの歴史や現在進められている事業について若手職員に知るきっかけにしてもらうことも、本検討会の目的の一つとしています。検討会メンバーが110年にわたって続いてきた事業への誇りと愛着を持ち、検討会で得た知識と経験を今後の業務へと活かしてくれればと思います。

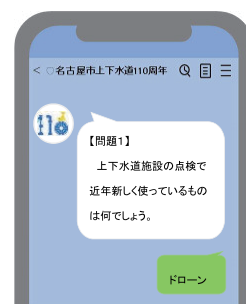
5 広報の主な取り組み

(1) 広報テーマ・年間計画の策定

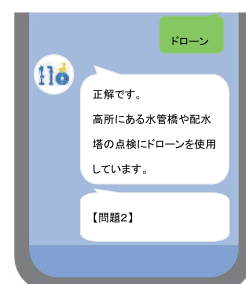
当局ではお客さまとの信頼をより深め、上下水道事業の必要性、重要性が伝わるよう、年度ごとにテーマと年間計画を立てて様々な機会を捉えて広報することとしています。

110周年事業実施期間の3か年は本市上下水道のこれまでの歴史を振り返りつつ、現在の取り組みなどを紹介することとしています。令和4年度は下水道供用開始から110年目に合わせて「下水道事業の維持管理業務」、令和6年度は給水開始から110年

- 1 LINEで登録すると一つ目の問題が送信される



- 2 問題に対し、正しい回答を入力すると次の問題が送信される



- 3 同じ要領で4～5問程度やり取りをし、最後にキーワードが表示される

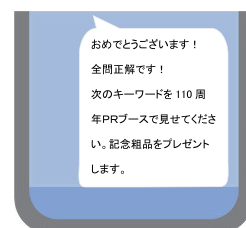


写真11 水フェスタにおけるLINEを活用したクイズラリーの概要



写真12 局公式SNSでの投稿

目に合わせて「水道事業の維持管理業務」をテーマとし24時間365日お客さまの安心・安全なくらしを支えている業務を中心に広報します。

中間の年である令和5年度は、水道事業・下水道事業共通のテーマである「経営状況と将来に向けた事業展開」としました。令和5年度予算は水道事業会計・下水道事業会計とも純損失を計上するなど極めて厳しい状況にあり、事業を継続していくためには、さらなる経営努力はもちろん、お客さまの理解と協力も不可欠です。当局の経営状況や持続可能な事業とすべく将来に向けて取り組んでいることについて、お客さまにしっかりと伝わるよう広報に取り組んでいます。

(2) 積極的な情報発信

局公式ウェブサイトやSNS、全戸配布の広報誌はじめ、季刊誌やパンフレット等の印刷物や、市政広報番組や動画を作成するなど、多くのお客さまの目

に留まるよう、様々な広報媒体で定期的かつ積極的に情報発信を行っています。

① 110周年特設サイトの公開

令和4年4月1日より、110周年の特設サイトを立ち上げました。ここでは、お客さまへの感謝や職員による事業紹介、局が進めている持続可能な事業運営(SDGs)、なごや上下水道110年のあゆみ、なごや上下水道110年の豆知識などを掲載しています。

令和5年度は、110年続く名古屋の上下水道事業を次の100年につなげていくために、日々のお客さまとの関わりや職員の人材育成・技術継承、将来に向けた新しい技術の活用など、取り組みに携わる職員の想いなどを紹介しています(写真13)。

② 広報なごや特集号の作成

上下水道事業110周年期間は全戸配布の広報誌「広報なごや特集号」を年一回発行することとしています。

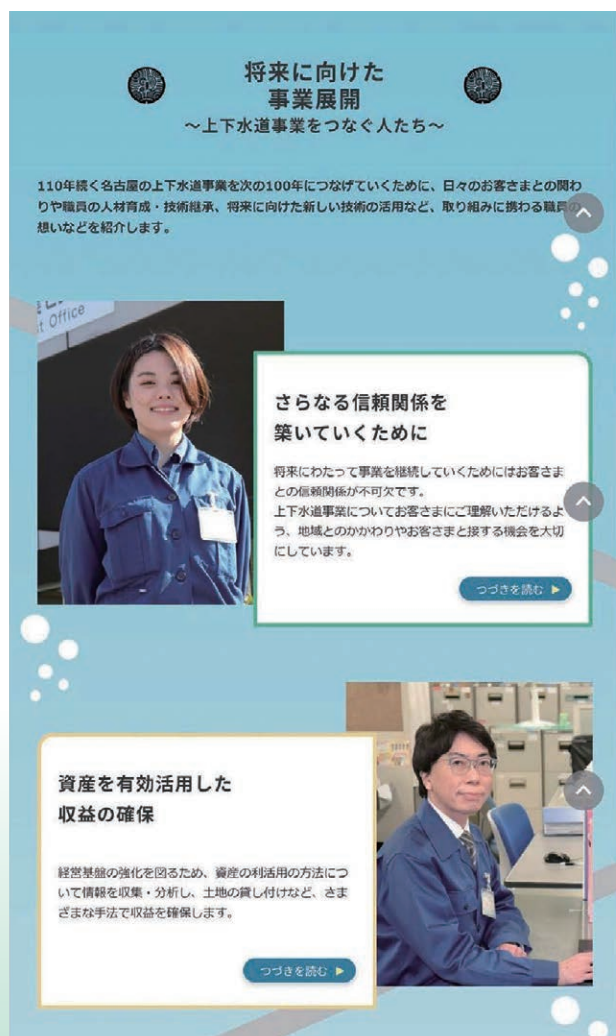


写真13 特設サイト



写真14 令和4年広報なごや特集号

令和4年度には下水道供用開始月である11月に「広報なごや特集号」として、「くらしを支える下水道」をテーマに約112万部作成し、下水道の役割や下水道の維持管理業務の紹介を、イラストや職員のコメントと共に掲載しました(写真14)。

令和5年度については11月に発行予定です。



広報なごや特集号

③市政広報番組・動画の作成

上下水道について興味・関心を持ってもらい、わかりやすく紹介するために、市政広報番組や動画を作成し、ウェブサイトやSNSでの公開に加え、イベント会場でもPRに利用しています。

また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、ワクチン接種会場などで110周年のPRとなる動画を多くの市民にご覧いただきました。

【令和4年度作成動画】

○市政広報番組「林修のなごやカルタ」

- ・下水道の供用を始めて110年！下水道の役割
- ・下水道110周年 きれいな川や海を守る
- ・下水道110周年 資源を有効活用する

○市政広報番組「おもてなし隊なごや」

- ・楽しく学べる！下水道科学館

○局公式ウェブサイト、市公式YouTubeでの公開

- ・露橋水处理センターVR施設見学
- ・ついに貫通！名古屋中央雨水調整池ーシールドマシンの貫通方法
- ・空見スラッジリサイクルセンターについて動画で紹介します
- ・名古屋市下水道の歴史

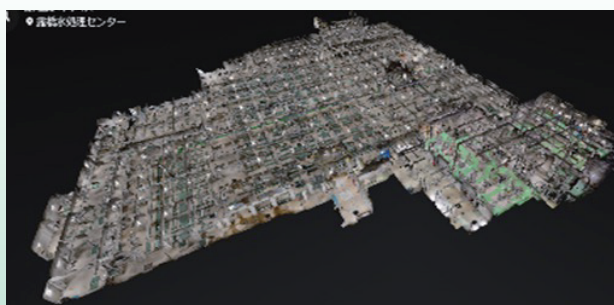


写真15 露橋水处理センターVR施設見学

令和5年度、6年度についても、引き続き各年度のテーマに沿った動画などを作成し、活用していく予定です。

④御嶽海関の木曽川○なごやの水応援大使就任

本市上下水道事業110周年の期間に合わせて、令和4年度から令和6年度の間、木曽川流域の長野県木曽郡上松町出身の御嶽海関に「木曽川○なごやの水応援大使」(「○」は大相撲の白星を表現しています。)に就任していただきました。

なごやの水道水は、水源とする木曽川の豊かできれいな水の恩恵を受けています。御嶽海関には木曽川○なごやの水応援大使として、「広報なごや」でインタビューに出させていただいたり、木曽三川流域連携シンポジウムや局PR動画に出演いただいたりすることで、木曽三川の流域連携およびなごやの水道・下水道について効果的な広報の促進を図っています。

木曽川○なごやの水応援大使
御嶽海関



⑤その他

総合パンフレット「なごやの水道・下水道」や季刊誌「水と四季」、検針票「水道ご使用量のお知らせ」裏面などの印刷物や、毎月配信のメールマガジンや手軽に情報発信できるTwitterなどで、PRを行っています。

(3)上下水道の「見える化」

上下水道は現在ではお客さまにとって、あって当たり前のライフラインです。上下水道施設の多くは、地面の下にあり、水をつくる浄水場、使った水をきれいにする水处理センター、雨水を排除するポンプ所も普段は公開しておらず、一般のお客さまが目にする機会はほとんどありません。お客さまとの信頼をより深め、上下水道事業の必要性、重要性が伝わるよう、当局ではPR施設として「メタウォーター下水道科学館なごや」と「水の歴史資料館」(写真16)を運営しています。



写真16 給水開始100周年を記念して作られた水の歴史資料館

また、前述の施設の紹介動画の作成に加えて、各種イベントなど、様々な機会を捉えて上下水道施設を公開したり上下水道に関係するものの展示を行ったりするなど、なるべく多くのお客さまに興味関心を持ってもらうため、110周年という節目であることを発信しつつ、上下水道の「見える化」に取り組んでいます。

また、イベントなどを開催するにあたっては、参加されないお客さまにも少しでもPR効果があるよう、新聞・テレビなどで取り上げていただけるよう報道機関に積極的なパブリシティを行っています。

【主な「見える化」の取組み】

- ・「水の歴史資料館」、「メタウォーター下水道科学館なごや」での展示
- ・浄水場・水処理センター・ポンプ所公開
- ・工事現場見学会(写真17)
- ・なごや水フェスタ(写真18)、下水道科学館まつり



写真17 名古屋中央雨水調整池 工事現場見学会の様子



写真18 令和5年度なごや水フェスタチラシ

6 おわりに

本市の上下水道事業は、現在、人口の減少、施設の老朽化、切迫度が増している南海トラフ巨大地震や気象災害への備えなど様々な課題に直面しております。また昨年より続く電力費や物価の高騰など、社会環境も厳しさを増しており、経営面において難しい舵取りが求められています。

職員一人ひとりがこれまで取り組んできた事業の歴史の重みをしっかりと認識し、上下水道事業が抱える様々な課題などについて、お客さまと共に考えていけるような情報発信に努め、事業への理解と協力をいただけるよう、しっかりと広報を行ってまいります。

今後、50年先100年先を見据え、経営基盤の強化に取り組みながら、着実に事業を実施することにより「安心・安全で安定した上下水道サービス」を未来に引き継いでいけるよう、職員一丸となってこの難局に立ち向かっていきます。

入庁から6年間を振り返って



愛知県 海部建設事務所 河川整備課

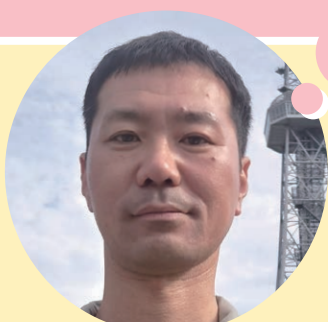
夏目 ひかる

このような機会を頂きましたので、今までを振り返ってみると、早いもので、愛知県に入庁して7年目となりました。

大学での専門は構造力学でしたが、入庁し蓋を開けてみると配属先は西三河建設事務所の都市施設整備課でした。どんな仕事を担当するのかドキドキしながら、業務の説明を聞き自分が下水道の仕事をするのだとわかりました。

西三河建設事務所は、県内で一番大きな浄化センターを維持・管理しています。その処理施設の1つである、砂ろ過施設の築造工事を担当しました。図面等の資料を見てもわからないことばかりで、工事の立会いの際に今・何を・どうして

賑わいのあるまちづくり



名古屋市 中土木事務所 整備係

三倉 隆行

名古屋市に入庁して12年目になりましたが、改めて振り返ると、建設コンサルタントに勤務していた期間のほうが未だに長く、その経験が今でも自分のベースになっています。今回は建設コンサルタントでお世話になった方々にも近況を報告できる貴重な機会をいただき、大変ありがたく思います。

建設コンサルタントでは主に橋梁の設計を担当していましたが、入庁後は主に交通安全対策や舗装の維持補修など、道路関係の事業計画に従事してきました。現在は中土木事務所で道路の維持補修や河川の護岸改修などの工事を担当しています。中土木事務所は、栄や金山などの繁華街が多い地域を管轄しており、都心部の既存インフラの維持管理が業務の中心になっています。ここで、私が担当している業務に

入社から3年を振り返って



アローコンサルタント株式会社

横林 優一

私はアローコンサルタント株式会社に新卒者として2020年4月に入社しました。入社してからの3年間を振り返ります。

1年目は、尊敬する上司との出会いがありました。私と上司との年代差は大きく、当初は不安でした。しかし、一緒に農業水利施設の業務を遂行する中で、現場踏査や打合せに同行させていただき、現場での課題発見力や発注担当者様や地元住民の方への説明力など、これが建設コンサルタントの技術者だという場面を目の当たりにし感銘を受け当初の不安は知らぬ間に消えていました。この1年で私の目指すべき技術者像を見つけることができました。

2年目は、「ため池の改修業務」に携わりました。本業務では現地の制約条件の整理等を踏まえて設計を行いました。一括りにため池といっても、それぞれが持つ特有な形状や機能が相違するため、応用能力が必要な業務であると感じました。業



確認するのか、上司や現場代理人に教えていただきながら、工事が進んでいきました。様々な課題を乗り越え、施設が完成した時にはとてもやりがいを感じました。

その後、本庁下水道課に異動となり、建設局や県として目標を掲げている計画の時点修正や下水道普及率の調査、下水道科学館の管理等様々な業務を担当しました。下水道普及率は下水道事業の重要な指標になる数値であり、間違いないよう県内全ての市町村のデータをとりまとめ・確認するのはとても大変だったことを覚えています。

入庁から5年間下水道事業に関わってきましたが、昨年度

から河川整備課に異動となり、堤防の耐震補強や河床掘削等の工事を担当しています。西三河建設事務所では浄化センター内の工事を行っていたため対外調整がほとんどなかったのですが、河川の工事では市役所、警察、地元説明等、関係者との調整が多く、工事の発注作業と並行しての調整が大変です。

今まで経験したどの仕事をとっても、知識も経験も豊富な上司や先輩に助けていただいていたばかりでした。10年20年と経験を重ね、お世話になった先輩達のようになれるよう知識を深めていきたいです。

について紹介させていただきます。

まず、名古屋市内では最初の整備となる環状交差点、ラウンドアバウトについて紹介します。官庁街の交差点における令和2年9月からの試行運用により、走行車両の速度抑制や逆走する自転車の減少など、交通事故防止に対する有効性が確認されたため、本格運用に向けた整備を行っています。本誌が発刊される頃には竣工している予定です。

次に、繁華街における道路空間再整備事業を紹介します。この事業では、都市再生推進法人と連携し、歩行者・自転車・自動車の通行空間を見直して再整備することで安全で賑わいのある地域主体のまちづくりを進めています。具体的には、歩道を拡幅してパークレットや自転車駐車場、沿道の店舗の荷捌きのスペースを配置するとともに、安全に利用でき

るように車道に自転車の通行位置を示すピクトマークを設置しています。また、道路占用許可の特例を活用し、都市再生推進法人がデジタルサイネージやシェアサイクルポートなどを設置しています。

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、街に活気が戻ってきました。歩行者利便増進道路制度の創設など、道路をはじめとする公共空間に対する利用者のニーズが大きく変化しています。このため、既存施設の安全性を向上するとともに付加価値を高めていくことで、都心部らしい賑わいのあるまちづくりを進めていきたいと考えています。機会がありましたら建設コンサルタントの皆様にもお立ち寄りいただき、ご意見やご提案をお聞かせいただけると幸いです。

務を進める中でわからないことは、上司や先輩方に助けていただきながら、やり遂げることができました。本業務では専門的な知識と貴重な経験を得ることができました。

3年目は2つの貴重な経験ができました。1つ目は2年目に携わった「ため池の改修業務」の工事現場を見ることができました。当社では設計した業務の現場見学を定期的実施しており、私が携わった業務を初めて見に行く機会があり、机上と実際の施工現場とのリアルかつスケール感の違いに感動しました。さらに、施工業者の監督さんと話すことで、施工目線の考え方や図面に書いたものが実際にどのように施工しているのかを教わり、その後の図面作成におけるイメージが非常にしやすくなりました。施工中の現場を見ることで、次の設計に繋がることを知ることができ現場見学の大切さを実感しました。2つ目の貴重な経験は、初めて打合せ資料を自分で作成し、

お客様に説明したことです。まず、打合せ資料を作成するに当たり、資料は必要最小限を心掛け、わかりやすく編集しました。説明に当たっては現場のイメージが分かるように、上司の写真を使った説明の仕方を模倣し、お客様の表情を見ながら、できるだけ早口にならないような説明を心掛けました。打合せは、上司にサポートしていただきながら無事終えることができました。この経験が、自分の自信に繋がったと感じました。しかし、まだまだ知識・経験不足を感じざるを得ません。それについては今後の課題として少しずつ技術力、コミュニケーション力アップに努めていきます。

以上が私の3年間の振り返りです。そして今年が4年目となります。これまでの知識や経験を生かすと共に、今後も上司や先輩方から知識を吸収し、お客様から信頼される技術者になれるよう成長していきます。

7年間の振り返りと、 技術士としてのこれから



大日本ダイヤコンサルタント株式会社

藤原 拓生

2015年に建設コンサルタント業界へ足を踏み入れ、橋梁の計画・設計業務に携わってから丸7年が経過しました。大学の講義で行った鋼非合成鈹桁橋の設計をきっかけに、鋼上部工の設計に興味を持ち始め、当業界への入社を決めました。貴重な機会ですので、入社後からこれまでに振り返りたいと思います。

私の入社時の配属は関東支社であり、詳細計算の社内内製化を目的とした部署で、鋼上部工の設計を担当しました。最初は専門用語の多い上司の会話が全く理解できず、まるで外国にでも来たかのような感覚でした。また、メタルが好きで入社したはずが、実は何も知識がないことを痛感し、幾度となく挫折を経験しました。しかし、橋梁への興味関心を捨てず、3年間学び続けた経験が実を結び、今では「鋼構造の人間」の印象を持ってもらえるようになりました。

20代の今までと 30代のこれから



株式会社オリエンタルコンサルタンツ 中部支社

小原 拓也

この度、「建設コンサルタント業に関すること」という主題をいただいたので、入社してからこれまでに振り返りながら技術者としての今後の目標について改めて考えてみました。

私は入社以来、交通安全対策や渋滞対策の検討など交通分野に関わる仕事に従事してきました。入社当時は、事故や渋滞といった交通事象をどのように捉えるのが正しいのか？何を拠る所に検討すればよいのか？何をするにも苦戦した記憶があります。そのような中で当時指導いただいた先輩技術者の姿から、基準書やマニュアルといった体系化された知識や技術を学び自分自身の考える土台を築くことの必要性を学んだように思います。

これまでに携わった業務を振り返ってみると、「物事を自分でどこまで考えられるか、相手へどう伝えるか」ということが建設コンサルタント業務を遂行する上で重要なことだっ

入社から3年を振り返って



株式会社名邦テクノ 設計事業部 設計1課

岩田 俊平

私が(株)名邦テクノに入社して早くも3年が過ぎました。このような機会を頂いたのでこれまでの3年を振り返りたいと思います。

入社してから2年間は、宅地造成設計、ため池保全調査等さまざまな業務に携わらせて頂きました。入社してすぐに参加した打合せでは、専門的な言葉が飛び交っていて話を聞き取るのも一苦労だったと記憶しています。分からない言葉は事務所に戻ってから調べたり、上司や先輩社員に聞くことで言葉を覚えていきました。ため池保全調査では週2〜3日のペースで約半年間ため池の現場調査をしました。設計会社であるため現場作業はあまりないと思っていましたので、普段あまり体を動かさない私にとってはとても大変な業務でしたが、構造物を間近で見ることによって細部の構造や機能を



4年目の年に、臨時勤務で九州支社へ異動となりました。国土強靱化を目的とした、高速道路の耐震補強業務に1年間ほど携わりました。耐震補強は全くの未経験でしたが、若手社員が主体となり編成されたプロジェクトチームの中で、既設橋の耐震補強業務の一連の流れを学びました。私は詳細設計で得た知識を活かし、鋼製橋脚の耐震補強や鋼製ブラケットの計画・設計を担当しました。28歳となったこの頃、妻と結婚をしました。以降、現在まで、転々と異動し続ける私を、全面的に支えてくれています。

その後、北陸支社新潟事務所へ2年間配属しました。初の計画部署への本配属となり、一通りの業務（予備・詳細・耐震設計）に携わり、入社5年が経過した時点でようやく橋梁計画の基礎に触れました。しかし、寒冷地における橋梁の計画では、路面凍結や農耕地が広がる地域性から、鋼床版や鋼製

橋脚などの採用機会が極端に少なく、また、事務所という少人数の部署ということもあり、モチベーション維持に苦労したことを覚えています。

昨年より中部支社へ異動となり、1年が経過しました。新潟での環境から一変、若手社員が多く在籍する環境に中堅として入ることとなり、完全に浦島太郎状態でした。同時に、鋼橋に携わる機会が急増し、今では自身の成長に不可欠な環境であると感じています。

今年度から、技術士として、新たな一歩を踏み出しました。中堅社員としての責任は重たく、自覚が甘い部分もまだまだありますが、これからも鋼構造の知識を軸に、苦手分野も含めて幅広く技術の研鑽に努めて参りたいです。

たのかなと思います。

「物事を自分でどこまで考えられるか」というのは、ある地域の問題・課題は何か、それをどのように解決するのかということを自分自身の中からアウトプットできるかだと考えています。顧客の方とお話すると、「地域の問題を解決してその地域をより良くするためにどうしたらよいか」を思案されているのだと感じます。顧客の方と同じように熱意を持って考え、解決策を提言していくことが建設コンサルタントに求められている役割なのだと思います。そこで求められている解決策は、全国どこにでもあてはまる通り一遍の内容ではなく、その地域の実情を踏まえたものであり、求められているレベルは高いと感じます。技術者としてそれにどこまで応えることができるかが試されているような気がします。

「相手へどう伝えるか」というのは、何時間何十時間かけて検討した内容も顧客の方にうまく伝わらなければ無駄になってしまうので、いかにわかりやすく論理的に伝えられるか

だと考えています。

少し背伸びたことを書いているので、上記のようなことを常に考えているというわけではありません。日々の業務に追われて目の前のことで精一杯という時の方が多いですが、時折振り返ってみることも大切だと今回改めて思いました。

30代を目前にした今の私の目標は、自分自身がさらにスキルアップすることです。最近では管理技術者として業務に携わることもあり、力量不足を感じる場面も多々あります。業務はチームで遂行していくので、お互いに補いながらというのは可能ですが、自己の能力開発が不可欠だと感じています。専門性を磨きながら、いわゆる「若手技術者」から早く卒業したいと思っています。業務を通じて見識を広げ、自己研鑽により知識を深める。一朝一夕にはいかないので、これを継続しながら専門性を持ちつつ俯瞰的な視野を持った技術者に成長していきたいと思っています。

知ることができ、より深く設計の意図を知ることになりいい経験になりました。

そして3年目からは、橋梁補修設計、道路改良設計等の業務を行っています。2年目までに関わってきた業務とあまり関連性のある業務ではありませんでしたが、基準書、法令といった基礎となるものがあり、それらを踏まえて設計をする点はどの分野でも変わらないと感じました。その中で、主に行っている橋梁補修設計では橋毎で臨機応変な対応が必要だと感じています。例えば、違う橋で同じような大きさの損傷があったとしても、橋の構造や損傷位置、現場状況等により違った補修工法を採用することがあります。業務に就き始めのころは、同じ損傷であれば同じ補修工法でいいのではないかと安易に考えていましたが、経験を重ねるごとに様々な条

件を考慮して工法選定を考えられるようになり、自分でも成長を実感しています。

今年も多くの新入社員が入社し、後輩に直接仕事を教える機会が増えました。自分自身、入社当時は分からないことが多く上司や先輩社員に助けられてばかりでした。今度は私が後輩社員に教える立場になりましたので、より早く成長出来るよう自分の経験を活かしてわかりやすく教えられるようにしていきたいと思っています。

最後に、将来子供を乗せて車を運転するときにこの橋梁や道路はお父さんが設計したんだよと自慢ができるような立派な技術者となれるように日々精進していきます。

日本工営株式会社 名古屋支店

営業企画部 寺本 貴弘

1. 我が社のプロフィール

日本工営株式会社は1946年(昭和21年)6月に設立し、今年で77年目を迎えます。

創業以来、「誠意を持ってことにあたり技術を軸に社会に貢献する」という経営理念のもと、すみよい社会を作るために総合的な技術サービスを提供してきました。将来に向けて、豊かでサステナブルな社会づくりを目標に、これまで培ってきた技術力・知見を軸に100年企業を目指して日々精進しております。

【コンサルティング事業内容】

- ・水資源・河川・農業農村整備
- ・ダム・発電
- ・都市・交通
- ・交通運輸
- ・防災
- ・環境
- ・マネジメント

【主な業務拠点】

本社(東京)、東京支店、札幌支店、仙台支店、新潟支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、四国支店、福岡支店、沖縄支店、中央研究所、海外28拠点

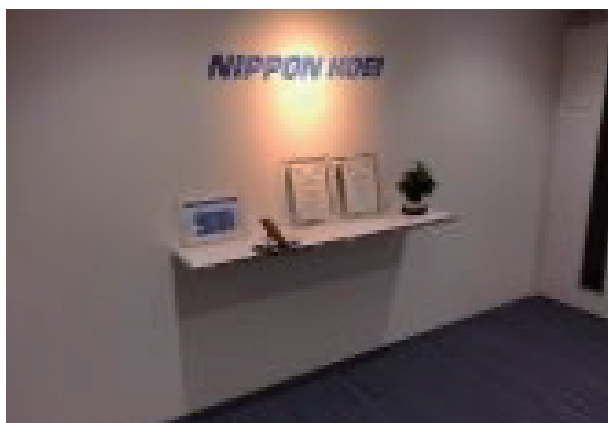


写真-1 名古屋支店

HPリンク先 <https://www.n-koei.co.jp/>

2. 我が社のイチオシ!

弊社ではスカパーJSAT(株)、(株)ゼンリンと業務提携し、衛星を活用した防災情報サービスの提供を開始致しました。

本サービスは、

- ①スカパーJSAT: 光学衛星、SAR 衛星を活用した画像撮影および解析技術の提供
- ②ゼンリン: 被害算出に必要な住宅地図データ、建物ポリゴン、統計情報の提供
- ③日本工営: リスク評価技術の開発(アラート機能)、予測技術の開発、表示コンテンツの開発

各企業の技術特徴を融合させることにより、平常時におけるリスク管理(インフラモニタリング)から災害時の状況把握までを精密に行える衛星防災情報サービスです。

今後、斜面の地形や地質特性、災害履歴、降雨情報等の基本情報と衛星による微小変動状況を組み合わせ、斜面崩壊の危険性をAIにより事前予測を行う予定です。

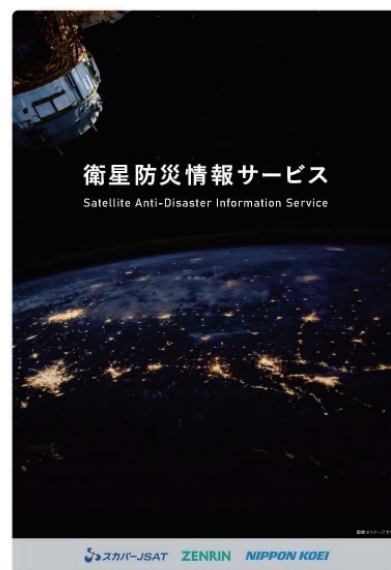


写真-2 衛星防災情報サービス

3. 最近のトピックス

名古屋支店ではテニス同好会を立ち上げ、職員の運動不足解消のため活動しております。メタボ卒業に向けてラケットを振り回しています。



写真-3 テニス同好会の活動

4. 執筆者からひと言

今般、SDGs、サステナブルなどの環境配慮に関する言葉が生まれ、世間では一般的な言葉として定着しつつあります。社会インフラ整備も環境に配慮して進められるようになり、それに合わせ建設コンサルタントの役割も多様化しています。建設コンサルタント企業の一員として多様化する社会インフラ整備に的確に対応できるよう今後も努めて行きたいと考えております。

中央コンサルタンツ株式会社

本社 人財室 山田 孝彦

1. 我が社のプロフィール

中央コンサルタンツ株式会社は、1960年6月に設立され、今年で64年目を迎えます。「国民の生命と財産を守る」という土木が担う使命に対して、シビルエンジニアとして貢献していく総合建設コンサルタントです。企業理念である「豊かな人間環境の創造」をテーマに、この使命に取り組んでいます。

【主な事業内容】

- ・コンサルタント業務：橋梁、道路、トンネル、河川、砂防、海岸、港湾、上下水道、都市計画、造園、区画整理、環境 等
- ・マネジメント業務：PM、CM、PPP/PFI、VE 等

【主な拠点】

札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、高松、福岡



写真-1 本社社屋(名古屋市中区丸の内)

2. 我が社のイチオシ！

我が社では、社員の働きやすさの向上や人財育成に向けた社員ファーストの取組がイチオシです。

昨年5月には、竣工したばかりの名古屋丸の内ビルに本社本店を移転し、フロアを超えた交流を生み出し、新しい働き方をサポートする空間として「コラボレーションスペース」を設置し、社員が自然に出会いコミュニケーションが活性化する空間としました。今後は、他拠点へのフリーアドレスデスクの導入も予定しています。

働きやすさという点では、社員からの様々な声を受けて、社内規定の見直しを進めています。例えば、育児休業規定については、当社で独自の制度を設けたり、上乘せを行うことで、育休取得率が向上しており、仕事と育児の両立に寄与する取組が成果を挙げています。

また、人財育成の面では、当社の人材は“人財”であり、社員は財産であると位置づけています。新入社員研修や若手社員研修はもちろんのこと、育成プログラムとして、身に付けたい技術に対して、育成者・指導者の拠点間連携による育成、研修を実施しています。

他には、若手のうちに人事異動やチーム替え等により、複数の業務分野を経験し、視野拡大を図ったり、各種試験

情報の提供、論文添削・面接指導を行っています。

これらの会社一丸となった人財育成の取組により、早期に技術者として一人立ちし、顧客から頼られ、期待される技術者を育成しています。



写真-2 社員研修の様子

3. 最近のトピックス

全国の拠点から全社員が創業の地である名古屋に結集し、創立記念日の時期に開催される「経営計画発表会」。

文字通り新しい期の方針を発表する場ではありますが、メインイベントはフリートーキングと呼ぶ1年の労をねぎらう支店間交流の場となります。

新型コロナウイルスの影響で、残念ながらここ3年間は中止となりましたが、本年は、5月26日に執り行いました。久しぶりに会う面々と楽しく飲み語り、この仲間たちで同じビジョンを描き、同じ道を歩いていくというダイナミズムを共有し、新たなモチベーションの高揚に繋げていく貴重な機会となっています。



写真-3 第64期経営計画発表会

4. 執筆者からひと言

当社は、移転した本社本店オフィスの真新しい職場環境の下で、平均年齢37歳という若い社員が集い、切磋琢磨し合いながら人財を磨き、建設コンサルタントの使命である社会貢献を果たすために、今後も努めて参ります。

総務部会 運営委員会

運営委員長 伴 宏之

運営委員会の活動としては、総会、協議会を始めとし各委員会の企画、立案、運営が円滑に進められるよう活動を行っています。

以下に今年度上半期の主な活動報告と下半期の主な活動予定についてご報告します。

令和5年度上半期の主な活動報告

■定時総会受付支援

- 日 時：令和5年4月27日(木)
- 場 所：KKRホテル名古屋

令和5年度下半期の主な活動予定

令和5年度下半期は以下の活動を予定しております。

■カルチャーセミナー

- 日 時：令和5年11月19日(日)
- 場 所：名古屋都市センター11Fまちづくり広場
- 講 師：小和田 哲男 静岡大学名誉教授
- 内 容：「徳川家康に学ぶ土木事業」のような内容で調整中

■コンプライアンス講習会

- 日 時：令和5年11月13日(月)
- 場 所：ホテル名古屋ガーデンパレス
- 内 容：(一社)全国上下水道コンサルタント協会中部支部、(一社)中部地質調査業協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部、(一社)愛知県測量設計業協会の5協会共催で、公正取引委員会より講師を派遣頂き、講習会を行う予定

■賀詞交換会

- 日 時：令和6年1月10日(水)
- 場 所：ヒルトン名古屋
- 開始時間：18:00から
現在、通常のbuffet形式で開催予定

総務部会 災害対策委員会

災害対策委員長 木田 末雄

災害対策委員会では、災害時対応訓練に関する事項を分掌しており、新たに締結した2団体を含めた行政機関等10団体と締結している災害時支援協定内容の適宜見直し及び支援協定先との協議並びに災害時に備えた情報伝達訓練の企画・運営等の活動を実施しています。

以下に昨年度下半期の主な活動と今年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和4年度下半期の主な活動報告

■名古屋高速道路公社との災害応急対策支援協定に関する意見交換会

- 実施日：令和4年10月17日(月)14:00～
- 会 場：名高速黒川ビル2階
- 参加者：名古屋高速道路公社、建コン協中部支部、支援協力社班長、愛知県建設業協会、日本橋梁建設協会

■名古屋市災害支援協定における対応

- 実施日：令和4年10月20日(木)11:00～
- 場 所：西庁舎7階道路建設課
- 内 容：情報伝達訓練の反省点、緊急通行車両の届出について

■名古屋港BCP協議会

- 実施日：令和4年12月15日(木)13:00～
令和5年2月13日(月)14:00～
- 会 場：名古屋港管理組合 Webにて参加
- 参加者：名古屋港BCP協議会構成員

■名古屋高速道路公社 点検アプリについて

- 実施日：令和4年12月8日(木)16:00～
- 会 場：名高速黒川ビル7階
- 内 容：点検アプリの概要及び操作方法

■「令和5年度災害時会員連絡名簿」作成のため支部会員へアンケート調査依頼

- 実施日：令和5年3月23日(木)

■災害対策委員会の開催

- 実施日：令和4年11月30日(水)、
令和5年2月22日(水)

■その他

- ・水資源機構との災害協定締結 令和5年3月10日
- ・三重県との災害協定締結 令和5年3月31日

令和5年度上半期の主な活動予定

■中部支部災害時会員連絡名簿の作成

支部会員からのアンケート調査結果を基に支援内容の追加、修正、確認を行い、行政機関10団体の「令和5年度災害時会員連絡名簿」を作成し、協定締結先へ配付を予定

■災害時対応演習

- 実施日：令和5年9月1日(金)
- 災害対策現地本部：中部支部

■名古屋市との災害時対応訓練に係る事前説明会

- 実施日：令和5年8月中旬予定

■名古屋市との災害時対応訓練

- 実施日：令和5年8月下旬予定

■名古屋高速道路公社との災害応急対策支援協定に関する意見交換会

- 実施日：令和5年9月下旬予定

■岐阜県との災害応援協定連絡会議

- 実施日：令和5年5月下旬予定

■静岡県との出動要請・応援訓練

- 実施日：令和5年8月中旬～9月初旬

■災害対応・BCP検討WP

- 建コン協本部と支部との災害時対応演習等の協議

■名古屋港BCP協議会

- 実施日：令和5年7月上旬
(令和6年2月中旬まで4回開催)

■上記に係る委員会の開催を予定

- 実施予定日：5月30日、7月4日、8月中旬、9月1日

対外活動部会 対外活動委員会

対外活動委員長 久保田 裕重

対外活動委員会では、発注者との意見交換会を中心に、関係行政機関の窓口として活動しております。昨年度は新型コロナウイルス感染症への対応をしながら、中部地方整備局をはじめ中部4県との意見交換会の開催ができました。今年度も引き続き、意見交換会を通して、協会会員の声を発注者に伝え、課題解決に向けた取組みを進めてまいります。

令和4年度下半期の主な活動報告

■中部地方整備局との意見交換会

出席者の人数を制限し、会議時間を1時間30分として対面で開催しました。

- 開催日：令和4年12月2日(金)
- 場 所：名古屋銀行協会会館 201号室
- 出席者：中部地方整備局 八尾企画部長はじめ12名
中部支部 上田支部長はじめ24名
- 議 題：・履行期限(納期)平準化と標準履行期間確保
・ウィークリースタンス(道路分野)の徹底
・BIM/CIM業務実施における支援策の要請
・災害時業務支援における環境整備
・地域コンサルタントの活用促進 など



中部地方整備局との意見交換会

■愛知県建設局との意見交換

従来よりも広い会議室を確保し、会議時間を1時間30分として対面で開催しました。

- 開催日：令和4年12月20日(火)
- 場 所：名古屋銀行協会会館 201号室
- 出席者：愛知県建設局 佐藤建設企画課長はじめ17名
中部支部 上田支部長はじめ14名
- 議 題：①担い手確保・育成／就業環境の改善
②品質の確保・向上
③その他(BIM/CIMの取組み等)

■岐阜県県土整備部との意見交換会

出席者の人数を最小限とし、会議時間を1時間としてWebで開催しました。

- 開催日：令和4年12月21日(水)
- 場 所：Web会議(岐阜県庁⇄中部支部)
- 出席者：岐阜県 小原技術検査課長はじめ4名
中部支部 後藤副支部長はじめ9名
- 議 題：・就業環境整備(ウィークリースタンス推進)
・DX推進の環境整備(APSの取組み)
・その他(見積徴収時の予定価格の設定方法)

■静岡県交通基盤部との意見交換会

静岡県庁と支部会議室をWEBで接続し、会議時間を2時間として開催しました。

- 開催日：令和4年12月22日(木)
- 場 所：Web会議(静岡県庁⇄中部支部)
- 出席者：静岡県 内山参事はじめ9名
中部支部 牧村副支部長はじめ12名
- 議 題：①担い手育成・確保のための環境整備
②品質の確保・向上
③フリーディスカッション

■三重県県土整備部との意見交換会

3年ぶりに三重県庁内にて対面、会議時間を2時間として開催しました。

- 開催日：令和4年12月23日(金)
- 場 所：三重県庁 5階ミーティングルーム
- 出席者：三重県 上村県土整備部副部長はじめ9名
中部支部 中村副支部長はじめ12名
- 議 題：①担い手確保・育成/就業環境の改善
②品質の確保・向上
③その他(プレキャスト化の推進など)

■「地域コンサルタント委員会」への対応

建コン本部「地域コンサルタント委員会」の依頼により、以下の調査を実施しました。

中部地整管内の発注案件調査

- ・「国土交通省の実績がなくてもチャレンジ可能な試行」
- ・「地域実績を重視した評価」

令和5年度上半期の主な活動予定

令和5年度上半期は以下の活動を予定しております。

- ・令和5年度中部ブロック意見交換会(9/11)
- ・「あいち建設みらいサロン」の窓口
(椋山女学園大学など5校での開催予定)

今後も発注機関との連絡・調整を中心とした活動により、協会活動が円滑に進行できるよう努力してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

対外活動部 編集委員会

編集委員長 伊藤 博之

編集委員会の活動は、広報誌「図夢in中部」を年2回(1月、8月)編集・刊行することにより、中部支部における諸活動の状況及び新規事業等を主に、建設コンサルタントに関する各種の情報を会員各社及び官庁、大学の方々に提供しています。

令和4年度下半期の主な活動報告

■「図夢in中部 Vol.50号」の発刊

2023年1月発刊に向けて50号の編集を行いました。
内容といたしましては、

- 図夢in中部50号に対する祝辞を上田支部長より頂きました。
- 業務技術発表 2022年度の第一会場および第二会場で行われました発表会で最優秀賞及び優秀賞の計6編を掲載いたしました。
- 巻頭言は、後藤副支部長に執筆していただきました。
- 投稿は、愛知県・静岡県職員の方に執筆いただき、会員の投稿は4名頂きました。
- 協会活動紹介は、部会報告・各委員会の2022年度上半期の活動報告と2022年度下半期の活動予定を記載しております。
- 事務局だよりは、「品質セミナーエラー防止のために開催」、「経営分析説明会の開催」、「契約のあり方講習会の開催」につきまして、記載をしております。



図夢 in 中部 Vol.50 号

令和5年度上半期の主な活動予定

■「図夢in中部 Vol.51号」の発刊

2023年8月発刊に向けて51号の編集を行っております。

- 6月22日に編集委員会を行い、各項目につきまして確認を行ってまいります。

編集委員会では、中部支部の活動状況や情報を「図夢in中部」とHPを通じて紹介しています。
(<http://www.ccainet.org>)

今後とも会員皆様からのご支援を頂き、活動状況をわかりやすく、親しみやすい内容で提供していきたいと考えています。

対外活動部 事業広報委員会

事業広報委員長 木村 孝延

事業広報委員会では、建設コンサルタントが「安心・安全・快適な暮らし」を実現するためにどのような役割を担い、どのように貢献しているかを広く一般の方々にご理解いただけるように、また学生の方々に対して業界の知名度を上げ、次代を担う技術者を確保するために、社会貢献活動を通じて業界活動をPRしていくことを目的として、これらの活動の企画・運営を行っています。

以下に昨年度下半期の主な活動と今年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和4年度下半期の主な活動報告

■建設コンサルタントフェア2022の開催

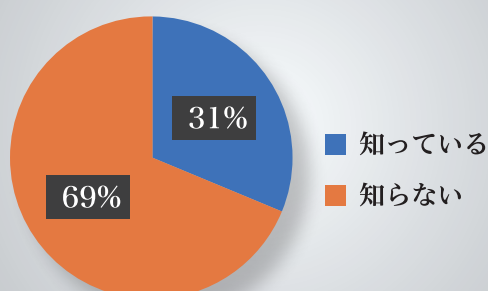
昨年度はコロナ感染拡大防止の観点から例年よりも規模を縮小し、3年ぶりに金山駅コンコースで建設コンサルタントフェアを開催しました。

- 開催日時：令和4年10月22日(土)
- 会場：金山総合駅コンコース
名古屋都市センター 14F特別会議室
- 展示内容：建設コンサルタントの役割パネル展示
フォトコンテストの開催
土木落語の上映

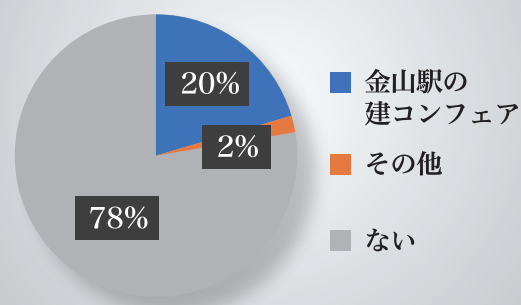
今回のフェアでは展示スペースへの誘導を取りやめ、フォトコンテスト等に参加いただいた方にアンケートへ協力をお願いし、記念品をお渡しする形態で開催しました。思いのほかフォトコンテストが盛況で、277名の方にアンケートの回答頂きました。

また本部広報専門委員会制作の『土木落語』を上映し、イベントへの集客に一役買っていたいただけたと思います。

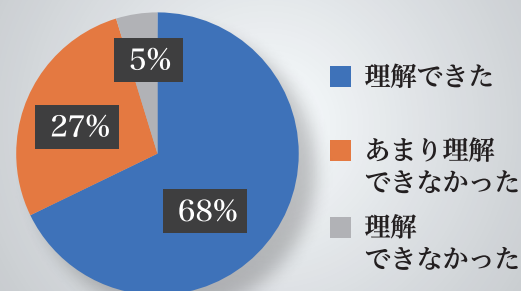
①建設コンサルタントを知っていますか？



②以前にも建設コンサルタント協会主催のイベントを見た(参加した)



③建コン業界の役割等理解できましたか？



アンケート結果

■業界説明会の実施

例年通り東海地方の土木関連の大学・高専に対し業界説明会を実施しました。

- 5/27 大同大学 60名【授業形式】
- 12/14 岐阜大学 業界ごとに10分程度
- 1/24 豊田高専 40名【授業形式】

コロナの影響でオンライン、もしくは未開催の学校が多く、HPやYouTubeなどで個人で閲覧できるコンテンツを希望する意見が多く寄せられています。本部の広報専門委員会でもPR動画の制作を進めていただいているようで、次年度以降に活用できるようになりそうです。

令和5年度上半期の主な活動予定

■業界説明会の実施

引き続き各校に対し説明会の開催可否について問い合わせを行います。

今年度はすでに大同大学で5/12に開催し、約50名の学生さんに参加頂きました。

今年度はコロナの余波がどこまで影響するかが未知数ですが、次代の担い手を確保するための重要な機会だと認識し、継続的な活動を続けます。

■業界広報誌の配布

会員名簿や図夢in中部など協会会報誌の配布のお手伝いを行います。

コロナの影響で手渡しでの配布から郵送方式に変わりましたが、配布先リストの更新等を行います。

■広小路夏祭り「打ち水大作戦」への参加

今年度は事務局より開催の方向で調整中との連絡を頂いています。

参加に向け、事務局との調整・参加者の募集など協会会員への案内を進めていきます。

■建設コンサルタントフェア2023の開催

今年度もフェアの開催に向け活動いたします。
魅力的なイベントとなるよう新しい企画などを提案していきます。

- 開催日：令和5年11月11日(土)
- 会場：金山総合駅コンコースイベント広場

■産官三機関合同インターンシップ活動補助

中部地方整備局が主催し、(一社)日本建設業連合会中部支部と、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部の三機関で合同インターンシップを開催いたします。

事業広報員会では各校へ参加者の募集や運営の補助などサポートしていきます。

情報部会 情報委員会

情報委員長 鹿田 竜一

情報委員会は、支部会員企業及び広く一般向けに、支部活動状況の発信や支部で運用する情報インフラの整備など、情報通信分野に関する活動を行っています。

令和4年度下半期の主な活動報告

■ホームページ運用管理

定期的な情報発信に加え、図夢in中部の掲載及び講習会などの資料を掲載しました。

■フォトコンテストの実施

令和4年度は、2年振りに『私のお気に入りの風景(土木施設)』をテーマとしたフォトコンテストを開催して、会員企業より55作品の応募を受け付けました。一次選考で8作品を選出し、建設コンサルタンツフェア(10/22開催)でパネル展示するとともに、来場者の審査により最優秀作1点、優秀作3点を選定しました。受賞作品は支部ホームページに掲載しています。



一般審査の様子

■ICT相談担当者

支部事務局や各部会及び委員会から、ICTに関する相談を受け付け、対応しました。また、中部地整との意見交換会などのオンライン配信を支援しました。

令和5年度上半期の主な活動予定

■ホームページの運用管理

定期的な情報発信に加え、図夢in中部の掲載及び講習会などの資料や動画を掲載します。

■フォトコンテストの実施

『私のお気に入りの風景(土木施設)』をテーマとして会員企業を対象にフォトコンテストを実施します。

■ICTアンケートの実施

会員各社に参考となる情報を提供することを目的とした、ICTに関するアンケートを実施します。

■その他

当委員会への要望などございましたら、お気軽にメールでご相談ください。

(情報委員会メールアドレス:johou@ccainet.org)

情報部会 ICT委員会

ICT委員長 佐藤 貴章

ICT委員会は、ICTに関する情報収集と共有、講習会の開催、関係機関との連絡調整等を通じ、支部会員へのICT普及・支援を目的とした活動を行なっています。

令和4年度下半期の主な活動報告

■道路設計者のためのBIM/CIMハンズオンセミナー

支部ICT委員会主催により10/3(月)に参集+Web形式によるハンズオン講習会を開催しました。

■GIS講習会2022(ハンズオン)

本部CIM技術専門委員会との共催により10/28(金)にWeb形式によるハンズオン講習会を開催しました。



講習会状況 (10/3)



講習会状況 (10/28)

■愛知県i-Construction推進協議会への参加

愛知県からのご依頼により、11/29(火)に開催された協議会に参加しました。ICT工事の推進状況や課題、BIM/CIM推進に向けた意見交換等を行いました。

■発注者との意見交換会への参加

BIM/CIMの普及に関する発注者との意見交換会に参加し、国土交通省中部地方整備局や各県の担当者とBIM/CIM導入状況などについて意見を交わしました。また、意見交換会資料として、BIM/CIMに関する会員アンケートを実施し、取りまとめを行いました。

■中部地方整備局DX研修への講師派遣

中部地方整備局からのご依頼により、2/6(月)に開催された職員対象の研修に、当委員会から講師2名を派遣し、BIM/CIM活用に関する説明を行いました。

令和5年度上半期の主な活動予定

■BIM/CIM・DXに関する講習会の開催

昨年度に引き続き、支部会員へのBIM/CIMやDX関連情報の提供、および技術力の向上を目的とした講習会の開催を予定しています。今年度は対面形式での講習会を充実させていく予定です。

■発注者との意見交換会、等

協議会や意見交換会に積極参加し交流を継続します。

■その他

当委員会への要望などございましたら、お気軽にメールでご相談ください。

(ICT委員会メールアドレス: ictc@ccainet.org)

技術部会 道路委員会

道路委員長 水野 耕治

道路委員会では、講習会・見学会・講師派遣などの技術交流を通じて、道路関連事業に従事する技術者の技術力の向上を図るとともに、建設コンサルタントフェアなどを通じて建設コンサルタントの役割が広く理解されていくことを目的として活動しています。

なお、令和5年度の道路検討グループへは、37社223名(令和4年度36社204名)のご登録をいただきました。

以下に令和4年度下半期の主な活動と令和5年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和4年度下半期の主な活動報告

■定例委員会の開催

下半期は10月～12月に対面+Web併用で3回開催し、役員会報告、業務技術発表会報告、対外活動報告、講習会準備、次年度道路検討グループ総会準備について議論を行いました。

■第2回技術講習会

- 開催日: 令和4年11月15日(火) 14:00～16:30
- 場 所: TeamsによるWeb配信
- 参加者: 27社86名
- 内 容: ①「道路整備の現状と今後」
②「発注者と受注者の役割など」
- 講 師: ①名古屋市緑政土木局

建設部道路建設課 野田 氏

②名古屋市緑政土木局

建設部道路建設課 大平 氏



講師による講演の様子



Web配信の様子

■講師派遣

1) 中部地整エキスパート研修(中部地方整備局)

- 開催日: 令和4年11月29日(火)
- 内 容: 法面・土工構造物点検

令和5年度上半期の主な活動予定

■委員会活動

委員会活動は、4月～12月に毎月1回の活動で計9回を予定しております。なお、これまで2年実施してきたハイブリット方式にて、Web会議、対面での会議で開催します(4月、5月は対面及びWeb会議形式で実施)。

■技術講習会

開催は、8月頃と11月頃の2回を予定しています。講習内容は、維持管理、防災、交通、CIM、i-Constructionなどをキーワードに総参加者アンケート結果を参考に決定します。開催方法は、対面方式による方法を基本とし、Web配信も検討します。

■現場見学会

開催は、9月頃を予定しております。中部地整の現場見学会メニューや機械化施工の現場など、中部地方で行われている土工事・構造物工事現場を訪問予定です。

■広報

広報活動は、委員会・ワーキング活動を会員全員に伝達する事業として、「道路委員会だより」を1回発行する予定です。

■講師派遣

1) 中部地整エキスパート研修

- ・トンネル点検(1講座、1名)
- ・のり面・土工構造物点検(1講座、1名)

2) 愛知県建設技術研修・道路計画実務講座

- ・道路計画・設計実務講座(5講座、5名)

3) 愛知県建設技術研修・設計エラー防止講座

- ・道路/トンネル(1講座、1名)

4) 愛知県建設技術研修・土木施工技術講座

- ・盛土、切土の設計と法面の安定(1講座、1名)

5) 三重県建設技術研修

- ・道路構造令の解説と演習(1講座、1名)
- ・構造物設計(1講座、1名)

技術部会 河川委員会

河川委員長 石崎 伸明

河川委員会では、河川の専門技術に関する交流活動、現地見学会、技術セミナーの開催、業務技術発表会への参加等を通じて、会員の皆さんの技術交流と情報交換を図るとともに、協会活動の推進、中部地整との意見交換会等によって、コンサルタントの地位向上ならびに河川業務の円滑な実施のための環境づくりを目指し、活動しております。令和4年度は河川検討グループへ32社252名のご登録をいただきました。

以下に、令和4年度下半期の主な活動と令和5年度上半期の主な活動予定についてご報告します。

令和4年度下半期の主な活動報告

■河川委員会

委員会は10から12月までに計3回開催し、活動計画の策定と報告等を行いました。

■河川技術セミナー

「令和4年度 河川技術セミナー」は、下記の2名を講師にお招きし、Teamsによるオンラインセミナーとして実施しました。

- 開催日: 令和4年11月30日(水) 13:00～
- 会 場: ウィンクあいち 901会議室
- 講師/演題: ①国土交通省中部地方整備局 河川部
河川調査官 野々村 武文 氏
「河川行政の今後の動き」
②山梨大学大学院
総合研究部工学域土木環境工学専攻
地域防災・マネジメント研究センター
大槻 順朗 助教
「多自然川づくりのレベルアップのための
3次元ツールの活用」
- 参加申込: 174名(官公庁、大学、会員、会員以外)



野々村河川調査官の講演



大槻助教の講演

■分科会活動

[第1分科会(治水・利水・環境等の調査・計画)]

第1分科会は、名古屋大学から中村准教授をお招きして実施しました。

- 開催日:令和4年11月8日(火) 13:30～
- 会 場:建コン中部支部事務局 会議室
Teamsによるオンライン講習(ライブ)
- 講師/演題:名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻
中村 晋一郎 准教授
「近年の水害にみる流域治水への示唆
-社会水文学からのアプローチ」
- 参加申込:127名(23社)

[第2分科会(河川、砂防施設の構造計画・設計)]

第2分科会は、下記の2社を講師にお招きして実施しました。

- 開催日:令和4年11月16日(水) 14:00～
- 会 場:建コン中部支部事務局 会議室
Teamsによるオンライン講習(ライブ)
- 講師/演題:①日鉄建材株式会社
「鋼製スリットダムAB型における
R3鋼製砂防構造物設計便覧の
対応について」
②福井コンピュータ株式会社
「点群・3Dモデルの作成・活用事例」
- 参加申込:92名(20社)

■河川見学会

令和4年度の河川見学会は、以下のとおり開催しました。

- 開催日:令和4年10月19日(水) 12:30～
- 場 所:青木川 第4調節池築造工事(愛知県)
揖斐川 御砂樋管改築工事(中部地整)
- 参加者:19名(12社)

■講師派遣

愛知県開催の建設技術研修に講師を派遣しました。

	建設技術研修		開催日
愛知県 (Web)	環境管理講座	公共事業と環境	R4.10.27
		自然環境再生工法	

■広報活動(研究会だより)

河川委員会と会員の方々の連絡役として、行事予定と活動報告等の情報がまとまった段階で、1月に「研究会だより」を発刊しました。

■令和4年度 業務技術発表会

令和4年10月21日に開催された、令和4年度 第32回建設コンサルタント業務技術発表会において、河川委員会では10編の論文提出と内5編の論文発表を行い、業務技術部門において優秀賞をいただきました。

【優秀賞】

「ALB点群データによる河床凹凸の面的評価

～アユ生息場評価に向けた一考察～」

株式会社建設技術研究所 小川 大介 氏

■対外活動

[建設技術フェア]

10/4、5に開催された建設技術フェアの学生ひろばで、建設コンサルタントの立場や役割等の説明を行いました。

[建設コンサルタントフェア 2022in中部]

10/22に開催された建設コンサルタントフェアで、展示パネルの説明を行いました。

令和5年度上半期の主な活動予定

令和5年度は、当検討グループへ32社260名(5月30日時点)のご登録をいただいております。

今年度の委員会活動は、社会情勢を踏まえつつ、Webだけではなく会議とWebのハイブリッド形式等の最適な方法で行います。

■委員会活動:4～9月の間で6回開催予定

■令和5年度 河川検討グループ総会

7月5日(水)に開催予定

■講師派遣:中部地整・愛知県の技術研修への講師派遣

技術部会 構造土質委員会

構造土質委員長 北堀 裕隆

構造土質委員会は、「橋梁をはじめとする構造物関係技術者の技術の研鑽・向上、ならびに会員相互の交流」を活動方針として、構造土質検討グループ会員に向けた橋梁・構造物設計に関する講習会や現場見学会などの行事の企画・運営、および中部地方整備局等との業務改善に関する意見交換などの対外活動を通して、会員の皆様の資質向上、並びに建設コンサルタントの地位向上を目指して、委員長以下19名にて活動しています。

令和5年度は、構造土質検討グループへ37社329名と多くの方々にご登録いただいています。

以下に昨年度下半期の主な活動と、今年度の活動予定についてご報告します。

令和4年度下半期の主な活動報告

■委員会活動

4月～12月までの毎月1回、役員会・技術部会報告、対外活動などの報告、技術講習会の立案検討などについて討議しました。

■技術講習会(Web開催)

令和4年度 構造土質検討グループ第2回技術講習会を下記のとおり開催致しました。前年度同様に新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策としてWeb配信にて講習会を実施しました。

- 日 時：令和4年12月12日(月)13:30～16:15
- 開催方法：Microsoft TeamsによるWeb配信
- 参加者：32社・141名(内、委員11名)
- 内 容：講習①：「鋼橋の補修・補強設計における設計・施工の留意点」
講師：(一社)日本橋梁建設協会

内田 氏

講習②：「PC橋の維持管理における最新技術」
講師：(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 醍醐 氏

講習①では、鋼橋の補修・補強設計における設計・施工の留意点と題してご講演いただきました。

1. 補強のポイント ～橋をよく見よう！～
2. 補修・補強現場の実態
～現場を知ると留意点が見えてくる～
3. 補修・補強事例と留意点
～過去の事例から学ぼう～
4. 今は使われていない材料・構造
～古きを知ろう～

はじめに、損傷のポイントについて、実際の損傷写真を用いて丁寧に、ご説明いただきました。また、特に損傷事例が多い桁端部についてその原因の解説や、重大損傷の予兆のポイント、橋種毎の主な着目部位と損傷、発見しにくい損傷

例などについて、ご説明いただきました。

実際の補修・補強現場は想像以上に狭く、補強だけでなく、施工スペースを考慮した設計・計画やクレーン等の重機が使用できない場合が多いことから部材の分割・小型化の重要性についてご説明いただきました。その他、今は使われていない材料(リベット、F11T高力ボルト、古材)についての留意点について、ご説明いただきました。

講習②では、プレストレスト・コンクリート建設業協会の醍醐様より、PC橋の維持管理における最新技術と題して、ご講演いただきました。

1. PC橋の維持管理のポイント
2. 点検・調査・モニタリング技術
3. 高速道路の大規模更新技術
4. グラウトの再注入について

はじめに、PC橋の維持管理のポイントとして、劣化過程の概念、PC特有の変状や維持管理方針についてご説明いただきました。つぎに、PC橋の点検・調査・モニタリングの最新技術についてご紹介いただきました。

点検技術ではロボット技術や3Dスキャナ技術の活用について、PCグラウトや鋼材、残存プレストレス等の調査技術では、従来の手法に加え、最新の調査技術について、モニタリング技術では、光ファイバーや張力センサーなどを利用した技術などについて、写真や図を使って丁寧に説明いただきました。その他、高速道路の大規模更新技術では、PC床版の継手構造や壁高欄施工技術、半断面施工技術などについてご紹介いただきました。また、2020年4月に発行された「グラウト再注入マニュアル」のポイントについてもご説明いただきました。



橋建協 内田氏による講演



PC建協 醍醐氏による講演

第1回技術講習会に引き続き、Web配信による講習会となりましたが、大きなトラブルもなく、多くの方に受講いただく事が出来ました。

■現場見学会

令和4年度 構造土質検討グループ見学会を下記のとおり開催致しました。

- 日 時：令和4年11月22日(火)12:30～17:30
- 場 所：東海環状自動車道
養老・海津地区周辺(下部・基礎工事)
- 参加者：15社・29名(内、委員7名)

1. 見学会概要

中部地方整備局の「旬な現場」を会場とし、岐阜国道事務所が建設を進める東海環状自動車道の橋梁下部工・基礎工の工事現場を見学しました。見学会の冒頭では、路線全体の工事進捗や見学箇所周辺の工事概要・立地条件等を説明して頂きました。

2. 下部工事見学

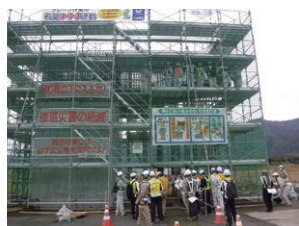
- ・工事名: R3東海環状小倉南高架橋下部工事
- ・受注者: 若築建設株式会社
- ・説明者: 岐阜国道事務所 横山建設専門官

工事対象の6橋脚は工事進捗が様々であり、埋戻しを完了した橋脚では、土留用鋼矢板を圧入機で引き抜いている作業状況を見学しました。梁の配筋までが完了していた橋脚では、足場内を昇降してPC梁の配筋状況を見学することができました。

3. 基礎工事見学

- ・工事名: R3東海環状志津第2高架橋下部工事
- ・受注者: 大日本土木株式会社
- ・説明者: 岐阜国道事務所 玉越建設監督官

当日は現場が稼働していなかったため、当該工事の回転杭の施工状況を撮影した動画を視聴しながら、工事概要や回転杭の特徴を説明して頂きました。その後、施工ヤード内に移動し、回転杭や施工機械を前にして施工方法の説明を受けました。回転杭は排土処理が不要となるのが特徴ですが、そのためか場内ヤードにゆとりがあり整然とされている印象を受けました。



下部工事見学状況



基礎工事見学状況

今回の見学会では、発注者や受注者の方から現場での苦労やコンサル業務への要望など生の声を聞くことができました。また、当日は天候に恵まれ、現場移動もスムーズに行われ有意義な現場見学会になったと思います。



集合写真

令和5年度上半期の主な活動予定

■委員会活動

4月～12月の間で9回開催予定です。なお、第1回から第2回は実施済みです。

■令和5年度 構造土質検討グループ総会

- 開催日時: 令和5年7月3日(月)
- 会場: ウィルあいち(特別会議室)
- 内容: 1. 令和4年度活動報告
2. 令和5年度活動計画

3. 講演

「過去の地震災害に学び将来に備える」

岐阜大学工学部 社会基盤工学科

地震工学研究室

能島 教授

■技術講習会

技術講習会は、以下の2回開催予定です。

- 第1回: 令和5年9月上旬予定(Web形式)
- 第2回: 令和5年11月下旬予定(Web形式)

技術講習会テーマは、今後検討していきます。

■見学会

見学会は、10月下旬に開催を予定しています。場所は、構造土質委員会にて検討していきます。

■コンサルタント業務技術発表会

技術部会主催の4委員会合同行事として開催します。

- 開催日: 令和5年10月31日(火)
- 会場: ウィンクあいち(名古屋市中村区)

■講師派遣

1. 愛知県技術研修

愛知県建設技術研修に、10講座延べ8名の講師を派遣予定です。

<事例でわかる土木設計実務講座>(7月11日)

設計事例演習・解説/ ㈱東京建設コンサルタント

<設計エラー防止実務講座>(7月13日)

エラー防止への対応について

/ ㈱ニュージェック

土質・地質調査の計画、実施及び結果の評価

/ ㈱ニュージェック

橋梁

/ 中日本建設コンサルタント(株)

<橋梁維持補修(橋梁点検)講座>(10月18日)

橋梁定期点検について、点検調査作成説明

/ 日本工営都市空間(株)

<橋梁設計実務講座>(10月19日)

橋梁計画概論 / 大日本ダイヤコンサルタント(株)

仮設構造物の計画設計 / ㈱ニュージェック

橋梁上部工の設計 / 中央コンサルタンツ(株)

橋梁下部工の設計 / ㈱長大

耐震設計と補強工法 / ㈱建設技術研究所

2. ニューブリッジ研修

ニューブリッジ研修に、年5回講師を派遣予定です。

「橋梁保全技術研修(検査点検コース) 基準の変遷」

■各種発注機関との意見交換会

中部地方整備局、各地方自治体(愛知県、三重県、静岡県)、NEXCO中日本名古屋支社との意見交換会等を随時開催していきます。

■構造土質たよりの発行

委員会活動や各WG開催行事の報告等について、「構造土質委員会だより」として発行します。

また、図夢in中部(51号・52号)を執筆予定です。

■業界説明会

大学への業界説明会に参加予定です。

■技術部会

部会運営担当(部会開催及び資料まとめ、役員会資料まとめ)

■対外活動(建設技術フェア、建コンフェア等)

技術部会 都市計画委員会

都市計画委員長 河村 和紀

都市計画委員会では、都市整備WG、交通WG、ランドスケープWGの3つのワーキングで実施する専門技術に関する交流活動、見学会や講習会の開催等を通じて、会員の皆さんの技術交流と情報交換を図るとともに、(一社)建設コンサルタント協会中部支部の活動を推進することによって、建設コンサルタントの地位向上ならびに都市計画業務の円滑な実施のための環境づくりを行っています。

都市計画検討グループは、令和4年度218名・30社(令和3年度234名・30社)のご登録をいただきました。

令和4年度下半期の主な活動報告

■都市計画委員会

下半期(10月～3月)の委員会は3回開催し、各WG活動結果の報告、課題、今後の対応やたよりの発行などについて協議をしました。

■第32回建設コンサルタント業務技術発表会

第32回建設コンサルタント業務技術発表会において、都市計画分野からは、最優秀賞 竹内 希生さん(株式会社オオバ)、優秀賞 角見 篤紀さん(中央コンサルタンツ株式会社)が受賞されました。

- 日 時: 令和4年10月21日(金) 13:30～19:00
- 場 所: 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

都市計画分野は、発表・掲載論文5編と、掲載論文1編があり、建コン中部支部HPにて公開しておりますので、是非ご確認ください。

■ワーキング活動

1) 都市整備WG

本活動は、高山市・飛騨市や円頓寺商店街を事例に、観光や地域コミュニティにおけるICT技術の利活用に関する講演会を開催しました。講習後にはデータドリブな商店街構築を目指す円頓寺商店街を視察し、「AIラボ」の見学会も実施しました。

- 日 時: 令和4年11月29日(火) 15:00～17:15
- 場 所: 東横INN名古屋丸の内会議室、円頓寺商店街
- テーマ: ICT技術を活用したデータ収集とまちづくりへの活用
- 講 師: 名古屋大学大学院 情報学研究科 浦田 真由 准教授
- 講演形式: 対面形式とWeb形式の併用
- 参加者: 43名、22社(対面13名、Web30名)



講習会の様子



見学会の様子

2) 交通WG

本活動は、交通安全性の向上について、プローブデータを含む多様なデータ、技術、視点による交通マネジメントに関する講習会を開催しました。



講演会の様子

- 日 時: 令和4年11月17日(木) 15:00～17:00
- 場 所: 東横INN名古屋丸の内会議室
- テーマ: 人、そして子供に優しいまちづくり
～多様なデータを活用して～
- 講 師: 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 松尾 幸二郎 准教授
- 講演形式: 対面形式とWeb形式の併用
- 参加者: 49名、28社(集合17名、Web32名)

3) ランドスケープWG

本活動は、地方創生を生み出し、日本の地域を元気にすることを目指す先進モデルである「VISON」の事業モデルを通じて、地方公共団体との連携、地域企業との事業スキームのあり方、集客を可能とする施設の魅力を創造する手法について学ぶ「VISON」の見学・講習会を開催しました。



講習会の様子



見学会の様子

- 日 時: 令和4年11月11日(金) 8:00～17:30
- 場 所: 見学: VISON(三重県多気町)
- テーマ: VISONの事業モデル
土木インフラについて
- 講 師: ヴィソン多気株式会社

代表取締役 立花 哲也 氏

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

設計管理技術者 洞庭 敏昭 氏

- 講演形式: 対面形式
- 参加者: 28名(12社)

■都市計画たよりの発行

委員会活動や各WG開催行事の報告等について、令和5年2月に「都市計画委員会だより」を発行しました。

令和5年度上半期の主な活動予定

■都市計画委員会

4月から9月までに6回の開催を予定し、令和4年度の振り返り、今年度の活動内容等について検討します。

■総会

令和5年度都市計画検討グループ総会は、会議形式により下記のとおりを実施する予定です。ご参加をお待ちしております。

- 日 時: 令和5年6月26日(月) 16:00～19:30
- 内 容: ① 令和4年度の活動報告と令和5年度の活動方針
② 令和4年度決算報告と令和5年度予算
③ 合同WG_技術者交流
(仮) 各WG活動、今後の都市計画分野について
④ 懇親会

若手の会WG

委員 供田 豪
(技術部会所管)

「中部若手の会WG」は、令和5年度になり平成29年の発足から7年目に突入しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、対面を伴うイベントは制限がありましたが、オンラインによるWGの実施や感染症対策を実施した上でJOB Café等の開催といった成果を残すことができました。令和4年度下半期の活動内容と令和5年度上半期の予定を報告させていただきます。

令和4年度下半期の主な活動報告

■Job Caféの実施

1.1 検討概要

- 開催日: 令和4年11月19日(土) 14:30～18:00
- 場 所: オフィスパーク名駅・花車デザイン会議室

1.2 開催内容

「気軽に建コンを知ってもらう」ことをコンセプトに、就職活動を控えた学生が気兼ねなく若手技術者と自由に話そうことができるよう、カフェ形式を意識して企画を行いました。

※今年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、広い会議室を利用して開催しました。

1.3 開催結果

複数の大学より計8名の学生に参加していただき、会社説明会等では得られない情報交換を積極的にできたため、参加した学生の方より、「建コン業界を知るよい機会だった」等の好評を得られました。今後もJOB Caféを定期的に実施して、建設コンサルタント業界の認知をより広めたいと考えております。

Program

14:30～14:40 JOB Caféの説明
14:40～15:10 建設コンサルタントの紹介
15:10～17:15 フリートーク(説明+30分×3+席替え)
→色々な人と交流できるよう30分毎に席替えします!
17:15～17:30 閉会の挨拶

給料って高いの?
地元で働ける?
休みはとれる?
フリートークでは何を聞いてもOK!



JOB Caféの様子

■業界の意識調査に関するアンケート

建設コンサルタント業界は、人口減少に伴う若手技術者の減少や社会情勢・就労体制等の変化に直面しています。このことから、「業界の意識調査」を目的としたアンケートを検討しました。アンケートの内容について定例会議で意見交換をしながら、作成をしています。令和5年度の上半期に協会所属の各社への配布を目標にしています。

アンケート検討案

令和5年度上半期の主な活動予定

令和4年度下半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

■JOB Café: 昨年度の開催が好評であったため、今年度も実施する予定です。

- ・上半期⇒開催内容、規模等を検討、決定
- ・下半期⇒準備・開催予定

■本部イベント:「業界展望を考える若手技術者の会」(本部若手の会)が主催するWILLSUMMITを含めて本部若手の会との連携を図ります。
7/27(木)～7/29(土)の3日間開催予定です。

■あいち建設みらいサロン: 愛知県が主催する業界PRを目的としており、就職活動を行う学生に向けて「建コン」の魅力を発信する場です。今年も要望に応じて参加します。

■建設技術フェア2023in中部: 昨年度に引き続き、技術部会・若手の会・女性の会が協同で参加し、学生に対する業界説明を行います。

■産官三機関合同インターンシップ: 大学・高等専門学校 of 学生を対象に行う合同インターンシップ(中部地整、日建連、建コン協会の3機関)である。若手の会も参加します。

■業界の意識調査に関するアンケート: 作成したアンケートを協会会員の各社に配布します。

女性の会WG

リーダー 齋藤 まい
(総務部会所管)

女性の会WGの令和4年度下半期の活動内容、令和5年度の活動予定をご報告させていただきます。

令和4年度下半期の主な活動報告

■建設コンで働く女性の勉強会の実施

建コンで働く女性の勉強会を開催しました。

(1)勉強会の概要

- 開催日: 2022年10月26日(水)
- 場 所: 丸の内アレックスビル 1階会議室
- プログラム: 以下のとおり
 - 13:30～13:45 開会あいさつ・趣旨説明
 - 13:45～14:30 多様な働き方の紹介
(ロールモデル4名(建コン中部支部会員会社))
 - 14:30～16:00 ワークショップ(ワールドカフェ)
 - 16:15～17:15 グループ発表
 - 17:15～17:30 連絡事項・閉会あいさつ

(2)実施結果

◆多様な働き方の紹介

建コン歴や専門分野などが異なる以下の4名の方にロールモデルを引き受けていただきました。

建コン歴: 8年目

専門分野: 建築

建コン歴: 10年目

専門分野: 交通、都市計画

建コン歴: 16年目

専門分野: 営業管理

建コン歴: 23年目

専門分野: 建設環境

◆ワークショップ

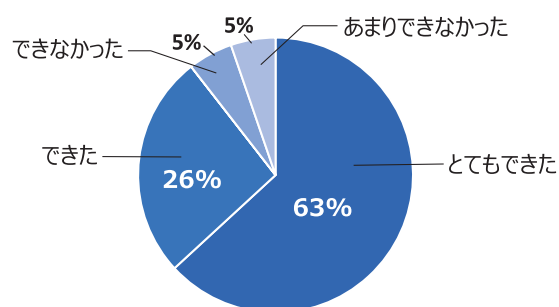
テーマを「多様な働き方のロールモデルを考える」とし、私たちが理想とする働き方を実現するための課題や解決策を話し合いました。

	理想の働き方
A班	建コン業界のイメージアップにつながる働き方をしていきたい。
B班	仕事&プライベートを充実させた働き方がしたい!!
C班	自分で選べる働き方をしていきたい
D班	丁寧な仕事をしつつライフイベントも充実した働き方をしていきたい
E班	仕事中心でなく、プライベートを重視した働き方をしていきたい。
F班	自分に合わせてゆるく働きたい!

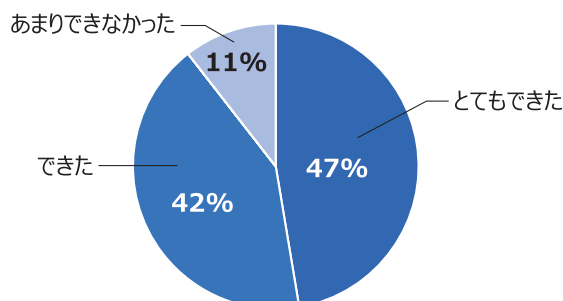
◆ 参加者 13社25名

◆ アンケート結果

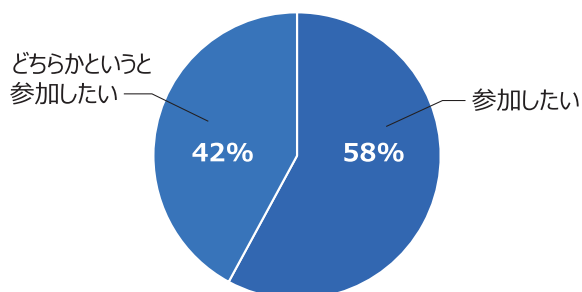
①自分もしくはグループでロールモデル・理想の働き方を考えられましたか。



②自分もしくはグループで理想の働き方を実現する上での課題について考えられましたか



③今後、このような勉強会があれば参加したいですか。



今回の勉強会では、同じ建コン業界のロールモデルの方から自分の経験を踏まえた働き方に関する思いを聞いたうえで「課題」と「あればうれしい環境や制度」を話し合うワークショップを行いました。

参加者からは、「自社にはいない働き方をしている女性の方々の話を聞くことができた」、ワークショップでは「自分の働き方について普段は考えたこともないような意見があり、とても有意義な時間を過ごすことができた」等、多数のうれしい感想を聞くことができました。

これにとどまらず、ワークショップで出てきた課題を重要度や、緊急度等で整理・分類し、早急に解決した方が良い課題、中長期的に解決すべき課題と、課題に優先順位を決め、優先順位の高い課題から順に解決に向けた取組を検討していきたいと考えています。

■「あいち建設みらいサロン」への参加

あいち建設みらいサロンは、行政やゼネコン、建設コンサルタントなど、既に建設分野に携わっている社会人（技術者）が建設分野に対する魅力を発信することにより、建設分野に関わる若手人材の育成を行うことを目的とした活動です。

女性の会WGメンバーも下記日程で参加し、仕事内容や働き方の説明、学生たちの疑問などに答えました。

【参加校、日程】

- ・豊橋技術科学大学（令和4年7月20日開催）
- ・愛知総合工科高等学校（令和4年11月1日開催）
- ・名古屋工業大学（令和4年11月17日開催）
- ・名古屋工業高校（令和4年11月25日開催）
- ・豊田工業高等専門学校（令和4年12月6日開催）



あいち建設みらいサロンの様子

令和5年度上半期の主な活動予定

今年度は以下のようなことに取り組んでいきたいと考えております。

■建コン業界で長く働き続けることができる環境をつくるための勉強会に向けて

令和4年度に実施した勉強会の成果を活かし、「働きやすい建コン業界」につなげるため、令和5年度は若手の会WGとの意見交換会を企画し、性別、役職等にとらわれず幅広い視点での意見交換ができればと考えています。

■支部間交流

建設コンサルタンツ協会4支部（関東支部・中部支部・近畿支部・九州支部）間での交流のためのイベントを開催予定です。

各支部持ち回りでの開催を予定しているため、支部間で調整しながら交流します。

今年度も女性の会WGを無理なく楽しい活動にしていきたいと思います。

	会 社 名	所 在 地	電 話 番 号	U R L
あ	(株)アイエスシー	名古屋市昭和区福江2-9-33(nabi/白金2F)	052-882-1201	https://www.isc-ngo.co.jp/
	(株)愛河調査設計	名古屋市南区本地通6-8-1	052-819-6508	https://www.aiga-cc.co.jp/
	(株)葵エンジニアリング	名古屋市中村区佐古前町22-6	052-486-2200	https://www.aoi-eng.co.jp/
	朝日航洋(株)	名古屋市東区東大曽根町12-19(OZヒメノビル2F)	052-930-3431	https://www.aeroasahi.co.jp/
	(株)朝日土質設計コンサルタント	岐阜県岐阜市須賀4-8-12	058-275-1061	https://www.asahidoshitsu.co.jp/
	アジア航測(株)	名古屋市北区大曽根3-15-58(大曽根フロントビル)	052-919-0155	https://www.ajiko.co.jp/
	アローコンサルタント(株)	名古屋市熱田区新尾頭2-2-32(勢州館金山ビル内)	052-684-5684	https://www.arrow-c.co.jp/
	(株)石田技術コンサルタンツ	愛知県小牧市東新町50	0568-73-1085	https://www.itcnet.co.jp/
	いであ(株)	名古屋市港区入船1-7-15	052-654-2551	https://ideacon.jp/
	(株)イビソク	岐阜県大垣市築捨町3-102	0584-89-5507	https://www.ibisoku.co.jp/
	(株)ウエスコ	名古屋市中区錦1-7-34(STAGE錦I)	052-221-7420	https://www.wesco.co.jp/
	(株)エイト日本技術開発	名古屋市中区錦1-11-20(大永ビルディング3F)	052-855-2261	https://www.ejec.ej-hds.co.jp/
	(株)NJS	名古屋市中区金山1-14-18(A-PLACE金山8F)	052-217-8610	https://www.njs.co.jp/
	NTCコンサルタンツ(株)	名古屋市中区錦2-4-15(ORE錦二丁目ビル4F)	052-229-1701	http://www.ntc-c.co.jp/
	応用地質(株)	名古屋市守山区瀬古東2-907	052-793-8321	https://www.oyo.co.jp/
	(株)オオバ	名古屋市中区錦1-19-24(名古屋第一ビル7F)	052-219-0083	http://www.k-ohba.co.jp/
	(株)大增コンサルタンツ	名古屋市中川区小本2-14-5	052-363-1131	https://www.ohmasu.co.jp/
	(株)オリエンタルコンサルタンツ	名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)	052-564-7711	https://www.oriconsul.com/
か	(株)カギテック	三重県松阪市田村町341-1	0598-23-1155	https://kagitec.jp/
	(株)片平新日本技研	名古屋市東区代官町35-16(第一富士ビル)	052-930-3701	https://www.katahira.co.jp/
	(株)カナエジオマチックス	名古屋市中区千代田1-12-5	052-249-9611	https://www.kanal.co.jp/
	川崎地質(株)	名古屋市東区上社2-184	052-775-6411	https://www.kge.co.jp/
	(株)環境アセスメントセンター	静岡市葵区清閑町13-12	054-255-3650	https://eac-net.co.jp
	(株)神田設計	名古屋市西区花の木1-3-5	052-522-3121	https://www.kanda-s.co.jp/
	(株)橋梁コンサルタント	名古屋市中村区名駅南1-16-30(東海ビルディング4F)	052-582-6886	https://www.kyoryo.co.jp/
	協和設計(株)	名古屋市中区丸の内1-10-29(白川第八ビル)	052-220-1021	https://www.kyowask.co.jp/
	協和調査設計(株)	名古屋市中川区篠原橋通2-44	052-365-3711	http://www.ky-cs.co.jp/
	(株)近代設計	名古屋市中区錦1-11-20(平和不動産名古屋伏見ビル)	052-232-0921	https://www.kindai.co.jp/
	(株)建設環境研究所	名古屋市中区錦3-20-27(御幸ビル5F)	052-218-0666	https://www.kensetsukankyo.co.jp/
	(株)建設技術研究所	名古屋市中区錦1-5-13(オリックス名古屋錦ビル)	052-218-3833	http://www.ctie.co.jp/
	(株)建設コンサルタントセンター	静岡市清水区長崎新田123	054-345-2155	https://kencon.jp/
	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鷺4-11	058-274-2332	https://www.koei-con.co.jp/
	(株)国際開発コンサルタンツ	名古屋市中区栄2-12-12(アーク栄白川パークビル)	052-209-6393	http://www.idec-inc.co.jp/
	国際航業(株)	名古屋市中区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー11F)	052-747-3112	https://www.kkc.co.jp/
	国土防災技術(株)	名古屋市名東区上社2-148	052-799-8101	https://www.jce.co.jp/
さ	(株)三栄コンサルタント	岐阜県岐阜市水海道4-22-12	058-246-2558	https://www.sanei-consul.co.jp/
	サンコーコンサルタント(株)	名古屋市中区栄2-11-7(伏見大島ビル)	052-228-6131	https://www.suncoh.co.jp/
	(株)三進	岐阜県大垣市二葉町7-12	0584-73-3969	https://www.sansinn.co.jp/
	(株)三祐コンサルタンツ	名古屋市東区代官町35-16(第一富士ビル4F)	052-933-7801	https://sanyu.tcp.jp/
	(株)三洋開発	三重県津市津興275	059-225-3766	https://www.sanyoh-kaihatu.com
	ジェイアール東海コンサルタンツ(株)	名古屋市中村区名駅5-33-10(アクアタウン納屋橋)	052-746-7108	https://www.jrcc.co.jp/
	静岡コンサルタント(株)	静岡県三島市多呂128	055-977-8080	http://www.shizuoka-con.co.jp/
	柴山コンサルタント(株)	名古屋市東区白壁1-69	052-961-0111	https://www.shibayama-consul.co.jp/
	(株)修成建設コンサルタント	名古屋市中区丸の内2-20-2(オアシス丸の内NORTH3F)	052-220-2351	https://www.shusei.co.jp/
	(株)新日	名古屋市中川区山王1-8-28(新日グリーンハイツ)	052-331-5356	https://shinnichi.co.jp/
	杉山コンサルタンツ(株)	三重県津市久居新町680-4	059-255-1500	https://www.sugiyamaconsultants.com/website
	(株)スリーエスコンサルタンツ	名古屋市中村区名駅4-7-1(ミッドランドスクエア15F)	052-265-5566	https://www.sss-consultants.co.jp/
	セントラルコンサルタント(株)	名古屋市中区錦1-18-22(名古屋ATビル7F)	052-223-0380	https://www.central-con.co.jp/
	全日本コンサルタント(株)	三重県四日市市鶴の森1-16-11	059-352-1052	https://www.zennippon-c.co.jp/

6 会員名簿一覧

	会社名	所在地	電話番号	URL
	(株)創建	名古屋市中区大須4-10-32(上前津KDビル7F)	052-253-7124	https://www.soken.co.jp/
	(株)総合技術コンサルタント	名古屋市中区錦1-10-1(MIテラス名古屋伏見3F)	052-211-7935	http://www.sogo-eng.co.jp/
	(株)創信	岐阜県本巣市石神707-2	058-320-0325	https://www.sousinn.co.jp/
た	大同コンサルタンツ(株)	岐阜県岐阜市中鷺2-11	058-273-7141	https://daidocc.com/
	大日コンサルタント(株)	岐阜県岐阜市藪田南3-1-21	058-271-2501	https://www.dainichi-consul.co.jp
	大日本ダイヤコンサルタント(株)	名古屋市中区名駅2-27-8(名古屋プライムセントラルタワー18F)	052-581-8993	https://www.dd-con.co.jp/
	(株)拓工	名古屋市中区熱田区桜田町15-22	052-883-2711	https://www.c-takko.co.jp/
	中央開発(株)	名古屋市中村区牛田通2-16	052-481-6261	https://www.ckcnet.co.jp/
	中央コンサルタンツ(株)	名古屋市中区丸の内3-22-1	052-971-2541	https://www.chuoh-c.co.jp/
	中央復建コンサルタンツ(株)	名古屋市中区錦2-3-4(名古屋錦フロントタワー4F)	052-220-2920	https://www.cfk.co.jp/
	(株)中部テック	名古屋市中東区社台3-48	052-771-1251	http://www.chubu-tech.co.jp/
	中部復建(株)	名古屋市中区昭和区福江1-1805	052-882-6611	https://www.chubu-fk.co.jp/
	(株)長大	名古屋市中村区名駅南1-18-24(マイビルディング4F)	052-586-0700	https://www.chodai.co.jp/
	(株)千代田コンサルタント	名古屋市中区丸の内3-14-32(丸の内三丁目ビル6F)	052-221-1401	https://www.chiyoda-ec.co.jp/
	(株)テイク	岐阜県岐阜市橋本町2-8(濃飛ニッセイビル内)	058-214-6667	https://www.teikoku-eng.co.jp/
	(株)東京建設コンサルタント	名古屋市中区錦2-5-5(八木兵伝馬町ビル)	052-222-2771	https://www.tokencon.co.jp/
	(株)東日	静岡県沼津市大岡2240-16	055-921-8053	http://www.tohnichi-net.co.jp/
	(株)トーニチコンサルタント	名古屋市中区栄4-6-15(フォーティンヒルズセンタービル)	052-262-4535	https://www.tonichi-c.co.jp/
	東洋技研コンサルタント(株)	名古屋市中丸の内3-23-8(MLJ丸の内7F)	052-228-3660	https://www.toyogiken-ccci.co.jp/
な	中日本建設コンサルタント(株)	名古屋市中区錦1-8-6(ONEST名古屋錦スクエア)	052-232-6032	https://www.nakanihon.co.jp/
	(株)浪速技研コンサルタント	愛知県豊田市桜町2-54(松村ビル2B)	0565-41-4655	https://www.naniwa-giken.co.jp/
	南海カツマ(株)	三重県津市上浜町5-64-6	059-226-4854	http://www.nankai-katsuma.co.jp/
	(株)日本インシーク	名古屋市中区丸の内3-21-25(清風ビル6F)	052-951-3590	https://www.insiek.co.jp/
	日本工営(株)	名古屋市中区葵1-20-22(セントラル名古屋ビル9F、10F)	052-559-7300	https://www.n-koei.co.jp/
	日本工営都市空間(株)	名古屋市中東区東桜2-17-14(新栄町ビル)	052-979-9111	https://www.n-koei.co.jp/urbanspace/
	日本交通技術(株)	名古屋市中村区椿町14-13(ウエストポイント1413)	052-451-9111	https://www.jtc-con.co.jp/
	日本振興(株)	名古屋市中村区名駅5-27-13(名駅錦橋ビル5F)	052-562-1191	https://www.nihon-shinko.com/
	(株)日本水工コンサルタント	名古屋市中村区竹橋町5-10(オイセタウンビル7F)	052-451-2391	https://www.nissui.co.jp/
	(株)ニュージェック	名古屋市中村区名駅5-27-13(名駅錦ビル4F)	052-541-8251	https://www.newjec.co.jp/
は	(株)パートナーズ	愛知県豊橋市三ノ輪町字本興寺41-1(CREST.1第1丸中ビル4F)	0532-39-9900	https://partners-tokai.com
	(株)ハイウェイ・エンジニアリング	名古屋市中区錦1-20-10(HR・NET伏見ビル6F)	052-232-1891	http://www.hw-eng.co.jp/
	パシフィックコンサルタンツ(株)	名古屋市中区名駅1-1-17(名駅ダイヤメイツビル)	052-589-3111	https://www.pacific.co.jp/
	(株)パスコ	名古屋市中区錦2-2-13(名古屋センタービル10F)	052-239-5140	https://www.pasco.co.jp/
	藤コンサル(株)	名古屋市中村区名駅3-22-8(大東海ビル)	052-433-1261	https://www.fuji-con.co.jp/
	不二総合コンサルタント(株)	浜松市北区初生町889-2	053-439-6112	https://fujisougou.co.jp/
	(株)フジヤマ	浜松市中区元城町216-19	053-454-5892	https://www.con-fujiyama.com/
	(株)復建エンジニアリング	名古屋市中区栄2-5-13(アイ・エスビル7F)	052-203-0651	https://www.fke.co.jp/
	(株)復建技術コンサルタント	名古屋市中区錦1-8-8(いちご錦ファーストビル5F)	052-222-6040	https://www.fgc.jp/
	復建調査設計(株)	名古屋市中東区葵2-12-1	052-931-5222	https://www.fukken.co.jp/
ま	(株)間瀬コンサルタント	名古屋市中村区名駅南1-16-28(NMF名古屋柳橋ビル4F)	052-414-6020	https://www.masecon.co.jp/
	丸栄調査設計(株)	三重県松阪市大町102-2	0598-51-3786	https://maruei-c.co.jp/
	三井共同建設コンサルタント(株)	名古屋市中区丸の内3-20-3(BPRプレイス久屋大通7F)	052-953-1060	https://www.mccnet.co.jp/
	明治コンサルタント(株)	名古屋市中区大須4-10-32(上前津KDビル310号)	052-249-3720	https://www.meicon.co.jp/
	(株)メイホーエンジニアリング	岐阜県岐阜市吹上町6-21	058-253-8811	https://www.meihoeng.co.jp/
	(株)名邦テクノ	名古屋市中南区大磯通6-9-2	052-823-7111	https://www.meiho-techno.co.jp/
や	八千代エンジニアリング(株)	名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシス栄9F)	052-950-2150	https://www.yachiyo-eng.co.jp/
	(株)ユニオン	岐阜県岐阜市西河渡2-57	058-253-3190	https://www.theunion.co.jp/
わ	(株)若鈴	三重県津市広明町345-1(若鈴ビル)	059-226-4101	https://www.wakasuzu.co.jp/
	若鈴コンサルタンツ(株)	名古屋市中区中小田井5-450	052-501-1361	http://wakasuzuc.jp/

事務局だより



●【令和5年度中部支部定時総会】

令和5年度定時総会を4月27日(木)にKKRホテル名古屋で開催しました。

コロナ感染の拡大防止のため、各社1名での参加協力をお願いいたしましたが、多数の方々にご出席を賜り誠に有難うございました。

また、昨年度に引き続き総会状況及び講演会をご視聴いただけるよう、Web配信を行いました。

議事は「令和4年度の事業報告及び収支決算」、「令和5年度事業活動方針(案)」及び「役員改選(案)」について審議が進められ、審議の結果、原案どおり承認可決されました。

支部の活動報告では、副支部長及び担当部会長から「学生ひろば」への出展等の社会貢献活動の取組、主な対外活動への取り組みとして各発注者との「要望と提案」意見交換会の実施並びに大学での業界説明会の開催等について、このほか愛知県・三重県・静岡県等の技術研修への講師派遣及び各部会・委員会の活動について報告されました。引き続き、令和5年度の事業活動方針が提案・採択されました。

総会終了後、春期記念講演会として、「国土交通行政をめぐる最近の話題」と題して、中部地方整備局の堀技術調整管理官様、「ハイモビリティを活かした中部圏の地域づくり」と題して、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所の森川教授様から講演をいただきました。

講演会も含めて長時間の開催となりましたが、業界紙3社の取材も受け、盛会のうちに滞りなく終了いたしました。

●【令和5年度における中部支部の7月以降の主な活動予定】

8月25日	名古屋市との災害時演習
9月 1日	建コン協災害時対応演習
9月11日	地方ブロック「要望と提案」意見交換会
10月31日	第33回業務技術発表会
11月11日	建設コンサルタントフェア
11月19日	カルチャーセミナー
12月6日・7日	建設技術フェア(学生ひろば)

なお、この他にも各委員会主催の講習会、見学会等を予定しております。事務局から会員企業の皆様に開催案内を差し上げますので、多数のご参加をお待ちしております。

【編集後記】

はじめに、2023年5月8日をもって、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行し、2020年1月の大流行から約3年、ようやくコロナ禍を脱し、以前の日常を取り戻しつつあり、大変喜ばしく思っております。

『図夢in中部』も今回で、第51号となりました。

本号では、名古屋市上下水道局様にご協力をいただき、「なごや上下水道110周年」と題し、人々の暮らしを支えてきた名古屋市の水道・下水道について、その歴史や記念事業の内容、また今後に向けた取り組みなどを紹介していただきました。

我々建設コンサルタントも、人々の暮らしに寄り添い、社会基盤を支え、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていく牽引役であるということを改めて認識いたしました。

また、編集委員一同、より良い『図夢in中部』を目指し、皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

今後の誌面に反映させていきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。

末尾になりましたが、今回の発刊に際して、ご協力いただきました皆様に、編集委員一同、心より感謝申し上げます。

(M.F)

【編集】対外活動部会編集委員会

部 会 長	横山 幸泰	(株)東京建設コンサルタント	委 員	古川 真人	(株)アイエスシイ
副 部 会 長	津田 光則	八千代エンジニアリング(株)	委 員	山下 達	中日本建設コンサルタント(株)
編集委員長	伊藤 博之	(株)ニュージェック	委 員	尾崎 富男	日本工営都市空間(株)
編集副委員長	坂本 憲二	中央復建コンサルタンツ(株)	委 員	山口 洋毅	(株)環境アセスメントセンター
委 員	瀧 高雄	(株)葵エンジニアリング	委 員	盛田 倫由	中央コンサルタンツ(株)
委 員	太刀掛泰清	セントラルコンサルタント(株)	委 員	遠藤 徹也	大日本ダイヤコンサルタント(株)

読者の皆様の作品・ご意見をお待ちしています。

◇投稿作品募集！

次号に掲載する投稿を読者の皆様から募集しています。

投稿内容:ジャンル・テーマは自由です。
(採用者には薄謝進呈します)

投稿方法:メール・FAX・郵送にてご応募ください。

◇読者アンケート

読者アンケートにご協力お願いします。あなたのご意見が「図夢in中部」を作ります。特に、本誌や建設コンサルタント支部活動への要望や提案など、個性的な意見を沢山お待ちしております。

一般社団法人建設コンサルタンツ協会中部支部ホームページの「読者アンケート」までどしどしお寄せください。

●すべての応募先、お問合せは…

(一社)建設コンサルタンツ協会 中部支部 編集委員会

名古屋市中区丸の内一丁目4番12号(アレックスビル3F) TEL.052-265-5738 FAX.052-265-5739

ホームページ <http://www.ccainet.org/>
メール info@ccainet.org

The background of the entire page is a clear blue sky. At the bottom, there is a layer of white, fluffy clouds that appear to be rising or billowing, creating a sense of depth and movement.

JCCA

図夢 in 中部 Vol.51

発行日：2023年8月10日

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部